

エジプト国
中央動員統計局における統計情報の質向上
プロジェクト

プロジェクト事業完了報告書

令和元年(10月)
2019年

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)

産公
JR
19-084

Project Completion Report

エジプト国中央動員統計局における統計情報の質向上プロジェクト

氏名: Ghada Mostafa Abdallah

職位: プロジェクトディレクター

氏名: 松尾 和彦

職位: プロジェクトチーフアドバイザー

提出日: 2019年10月17日

I. Basic Information of the Project

1. 国名 : エジプト・アラブ共和国

2. プロジェクト名 :

エジプト国中央動員統計局における統計情報の質向上プロジェクト

3. プロジェクト実施期間

当初の期間 : 2016年3月20日から2019年3月19日まで

実際の期間 : 2016年3月20日から2019年10月19日まで

理由 : 他の統計調査（労働力調査、家計調査）を効果的に実施する能力を強化するため、7か月の延長をした。

4. 背景

エジプトでは1882年に初めて近代的な手法で人口・住宅センサスが実施され、それ以降13回にわたり同センサスが行われてきた。人口・住宅センサスは、公的機関、大学、研究機関、国際機関などにとって国家戦略の策定や分析のために利用可能な公的情報源である。しかしながらこれまでに実施されてきた人口・住宅センサスは、統計データの質が低く、貧困層の社会経済的特性を十分に把握できないなど、エジプト政府が公共政策を決定・実施する上で課題となっている。エジプト政府において中央動員統計局（Central Agency for Public Mobilization and Statistics : CAPMAS）は長い伝統をもつ統計機能を引き継ぎ1964年に設置された統計機関であり、人口・住宅センサスのみならず総合的統計を実施しているが、統計の質向上のためには、調査手法の効率性の向上や、収集済みデータの入力、データチェック、集計、公表等、CAPMASの総合的能力強化が必要である。また職員の年齢構成上の問題（50歳以上の職員が全職員

の 55%) から今後 10 年以内に職員の大量退職を控え、若手・中堅職員への技術移転や伝承等人材育成を計画的に行うことが急務となっている。こうした課題解決のため、中央動員統計局の今後 10 年を見据えた統計情報の質向上を図ることをめざし、本プロジェクトは 2016 年 3 月の短期専門家派遣により 2019 年 3 月までのプロジェクトとして開始され、2016 年 6 月の長期専門家 2 名（統計／品質管理及び業務調整／研修計画）の着任により本プロジェクトが本格稼働した。その後、2018 年 10 月の合同調整委員会において、経済センサス、家計調査（HIECS¹）等への更なる投入の必要性が確認されたことから、プロジェクト期間を 2019 年 10 月まで延長することとした。

5. 上位目標とプロジェクト目標

上位目標：エジプトの統計調査の品質向上により政策の妥当性が向上する。

プロジェクト目標：当初：CAPMAS 職員の 2016 年人口・住宅センサス及び他の統計調査を効果的に実施する能力が強化される。変更後 1：CAPMAS 職員の 2017 年人口・住宅センサス及び他の統計調査を効果的に実施する能力が強化される。理由：2016 年に実施予定であった国勢調査がエジプト議会選挙と重なり実施が 2017 年に延期されたため。変更後 2：CAPMAS 職員の 2017 年人口・住宅センサス及び他の統計調査（労働力調査、家計調査）を効果的に実施する能力が強化される。理由：実施機関からの要望により、その他の統計調査として労働力調査、家計調査を追加したため。

6. 実施機関：エジプト国中央動員統計局 (CAPMAS)

¹ Household Income, Expenditure and Consumption Survey

II. Results of the Project

1. Results of the Project

1-1 Input by the Japanese side (Planned and Actual)

(1) 日本側総投入額： 185.22 Million Japanese Yen

(2) 専門家派遣： 21 人

2016年3月20日から2019年10月19日までにプロジェクトに派遣された長期専門家は2人（チーフアドバイザー、業務調整員）、短期専門家は19人である。（詳細は Annex 1 を参照）

(3) 招聘プログラム

プロジェクトの実施を円滑に行うため、日本の統計調査・統計業務にかかる経験・知見を紹介することを通して、CAPMAS 側の具体的ニーズを把握し、今後予定されている研修事項のテーマを確定することを目的に2017年1月29日から2月4日の日程でCAPMAS 側プロジェクト関係者4人を日本に招聘した。（詳細は Annex 1 を参照）

- (4) 研修員受入： 39人 （第1回から第4回まで実施）
 第1回本邦研修：2017年9月23日から10月15日 11人
 第2回本邦研修：2018年2月11日から3月4日 13人
 第3回本邦研修：2018年9月29日から10月20日 7人
 第4回本邦研修：2019年6月29日から7月20日 8人

No.	本邦/在外	研修員数	研修項目
第1回	本邦	11人	オリエンテーション、官庁統計家の心構え、総務省統計局長表敬、統計資料館の見学、統計局の概要、政策統括官（統計基準担当）の概要、経済センサスの概要（H26基礎調査）、経済センサスの概要（H28活動調査）、センサスマッピングシステム（CMS）の概要、地域メッシュ統計の概要、国勢調査の概要、コーホート分析手法等人口センサスの精度検証手法、e-Stat（政府統計の総合窓口）と統計GISの概要、（独）統計センター理事長表敬、統計センター施設の見学、人口センサス（国勢調査）の審査・集計方法の概要、経済センサスの審査・集計方法の概要、都道府県の行政と統計機構、出張オリエンテーション、CAPMASデータを利用した経済分析及び意見交換、矢橋ホールディングス株式会社（会社の活動概要、事業所内見学及び統計調査への対応状況等）、岐阜県における統計活動概要、2030 SDG Agenda（全体概要）、SDG global indicator framework、SDG indicators typology、討論（エジプトにおける2030アジェンダへの要請、プレゼン）、討論（続き）、クマール所長講演、内部検討会、研修員による発表（CAPMASの統計活動）、意見交換、SDGデータの概要（日本とエジプトの対応）、経済産業省調査統計グループで行っている統計概要、工業統計調査の概要、商業統計調査の概要、標本抽出論1（概要）、労働力調査の標本抽出の考え方、就業構造基本調査の標本抽出の考え方、家計調査の標本抽出の考え方、家計消費状況調査の標本抽出の考え方、評価会、修了式

第2回	本邦	13人 A班:6人 B班:7人	<p>A班：家計調査の概要及び討議（エジプトの家計調査紹介含む）、家計消費状況調査の概要（電子商取引含む）、家計調査の審査・集計方法の概要、国勢調査の調査区設定、国勢調査のオンライン回答システムの概要、人口推計の概要及び討議、国勢調査の概要及び将来課題、国勢調査における品質管理の概要及び討議、労働力調査の概要（サンプリングを含む）、労働力調査の手法討議（エジプトの労働力調査紹介と討論）、標本抽出（概論）、サンプリング手法討議（エジプトにおけるマスターサンプリング方式紹介と討議）、社会生活基本調査の概要、社会・人口統計体系の概要</p> <p>B班：経済センサスの概要（H26 基礎調査）（ローリングセンサス紹介含む）、経済センサスの概要（H28 活動調査）及び討議（エジプト経済センサス紹介含む）、経済センサスの審査・集計方法の概要、経済センサスの調査区設定、経済センサス活動調査のオンライン回答システムの概要、CPI の概要、小売物価統計調査の概要（PDA デモ含む）及び討議（エジプトの CPI 紹介含む）、事業所母集団データベースの概要（ビジネスレジスターのデモ含む）、日本銀行の統計概要、サービス貿易の概要、PPI、サービス指数の概要及び討議（エジプトの PPI 紹介含む）、経済産業省の統計概要、商業統計の概要、工業統計の概要（エジプト経済センサス紹介含む）、工業統計調査におけるオンライン調査の概要及び地域メッシュ統計について</p> <p>共通：ブリーフィング、オリエンテーション、 官庁統計家の心構え、総務省統計局長表敬、 統計資料館の見学、統計局の概要（CAPMAS 概要紹介含む）、政策統括官（統計基準担当）の概要（統計改革概要含む）、（独）統計センター理事長表敬、統計センターの概要、統計センター施設の見学、滋賀大学学長等表敬、公的統計の政策への活用（講義・討議）（CAPMAS 概要紹介含む）、官庁統計家のためのデータサイエンス（講義・討議）、京都府統計課（地方統計業務の概要・討議）、e-stat（政府統計の総合窓口）と統計 GIS の概要、センサスマ</p>
-----	----	-----------------------	--

			ッピングシステム（CMS）の概要、地域メッシュ統計の概要及び討議（エジプトのGIS紹介含む）、開会（SIAP 所長挨拶等）データ解析概論、SIAP（エジプト統計の現状発表と討議）閉会、CAPMAS データを利用した経済分析及び意見交換、GIS データを利用した地域分析（1）（エジプトのGIS 紹介含む）、GIS データを利用した地域分析（2）エジプト大使館表敬及びセンサス結果データの紹介討議、評価会、修了式
第3回	本邦	7人	簡易ブリーフィング、統計局の概要（CAPMAS 概要紹介含む）、終了後簡易オリエンテーション、総務省統計局長表敬、統計資料館の見学、政策統括官（統計基準担当）の概要（統計改革概要含む）、（独）統計センター理事表敬、統計センターの概要、統計センター施設の見学、家計調査の概要及び討議（エジプトの家計調査紹介含む）、家計消費状況調査の概要、全国消費実態調査の概要、家計調査の審査・集計方法の概要、国勢調査の調査区設定、国勢調査のオンライン回答システムの概要、将来人口推計の概要（推計手法等）（エジプトの人口推計紹介含む）、GIS データを利用した地域分析（GIS 演習含む）、エジプトにおける世帯パネル調査の実施について、和歌山県統計活動の概要等（調査員との意見交換含む）、事業所見学（日本のエコ産業の実態把握）、統計データ利活用センターの活動概要、e-Stat（政府統計の総合窓口）と統計GISの概要、センサスマッピングシステム（CMS）の概要、地域メッシュ統計の概要及び討議（エジプトのGIS 紹介含む）、官庁統計家のためのデータサイエンス（BIG データと官庁統計：講義・討議）、労働力調査の概要（サンプリングを含む）、労働力調査の手法討議（エジプトの労働力調査紹介と討議）、就業構造基本調査の概要、オープンデータの概要、オープンデータ戦略の取り組み（現状）、APIの使い方（デモ等）、社会生活基本調査の概要（エジプトの時間利用調査の現状紹介）、標本抽出（概論）、サンプリング手法討議（エジプトにおける最新マスターサンプリング作成の現況紹介と討議）、厚生労働統計の概要、人口動態調査の概要、国民生活基礎調査の概要、国勢調査における品質管理の概要及び討議（エジプトの年齢コーホート分析の現状紹介含む）、人口・世

			帯統計におけるエジプトの課題（エジプト側の各種プレゼンテーション及び討議、エジプト大使館表敬・討議、評価会、修了式
第4回	本邦	8人	ブリーフィング、オリエンテーション、統計局事前ブリーフィング、統計資料館の見学、統計局の概要（CAPMAS 概要紹介含む）、政策統括官（統計基準担当）の概要（統計改革概要含む）、統計センターの概要、統計センター施設の見学、経済センサスの概要（H26 基礎調査）（DB の概要含む）、経済センサスの概要（H28 活動調査）及び討議（エジプト経済センサス紹介含む）、エジプト大使館表敬及び CAPMAS 統計活動の紹介討議、統計 GIS データの概要、e-stat（政府統計の総合窓口）と jSTAT MAP の概要、経済センサスの調査区設定、「政府オンライン調査システム」の概要、BIG データの統計的利用に向けて（官庁統計家のためのデータサイエンス）講義・討議、経済産業省の統計概要、工業統計の概要、鉱工業指数の概要、BIG データを活用した新たな統計データ収集の試み（商業動態統計調査等）、CPI の概要、小売物価統計調査の概要（POS データを使用した PDA デモ含む）及び討議（エジプトの CPI 紹介含む）、総務省統計局長表敬、統計センター理事長表敬、経済構造統計の整備について（経済構造実態調査の実施概要を含む）、産業分類の自動格付け、統計研究研修所の概要（統計技術研究及び統計研修概要）及び施設見学、統計データ利活用センターの活動概要、滋賀県統計活動の概要等、官庁統計家のデータサイエンス、オープンデータの概要、オープンデータ戦略の取り組み（API、LOD）、API の使い方（デモ等）、CAPMAS 統計の現状と課題（研修生プレゼンテーション及びディスカッション）、GDP 推計概要（国民経済計算年次推計）、GDP 推計の概要（四半期推計）、景気動向指数の概要、研修結果とりまとめ・打合せ討議、評価会、修了式

（研修参加者リスト、研修日程表は Annex 1 に記載）

(5) 機材供与 : 43.422 Million Japanese Yen

2016年12月1日、CAPMASにおいて富士通製のタブレット450台の供与式が行われた。これは2017年に実施される人口・住宅センサス（国勢調査）をはじめとする、CAPMASの各種統計調査の品質管理向上を狙ってJICAが供与したものです。供与内容は以下のとおりです。

- 1) 450 Tablets (Fujitsu Q555 model)
- 2) 450 Sleeve Cases
- 3) 450 SD Cards (64 GB)

JICA エジプト事務所と CAPMAS との合意に基づき、半年ごとにタブレットの検査を行い、年間報告を行っている。

(6) 在外事業強化費 : 18.17 Million Japanese Yen

主な投入内容

- 備人費（プロジェクトスタッフ）
- 機材保守・管理費（Xerox Work Centre 5024 プリンター）
- 物品購入費（Xerox WorkCentre 5024 プリンター、NikonD5300 カメラ、コピー用紙、プリンタートナー、ファイル等）
- 旅費・交通費（タクシー代、スタッフ交通費、訪日用航空券、訪日用旅費、地方出張旅費）
- 通信運搬費（執務室 Wifi 接続料、資料・報告書等本邦輸送費）
- 借料損料（専門家活動用レンタカー借り上げ代）
- 雑費（銀行手数料、通訳謝金、翻訳謝金）

1-2 Input by the Egyptian side (Planned and Actual)

(1) プロジェクト実施体制

(a) プロジェクトダイレクター：ガダ ムスタファー アブダッラー (Mrs.)
元 CAPMAS 総裁官房次官、現在は経済セクター次官であり、プロジェクト開始より計画通り配置されている。

(b) サブプロジェクトダイレクター：ホダ ムスタファー アティエ (Mrs.)

- 国際局局長であり、プロジェクト開始より計画通り配置されている。
- (c) プロジェクトマネージャー：アフマド カマール アブデルアジーズ (Mr.)
CAPMAS 総裁顧問であり、プロジェクト開始より配置されている。
- (d) サブプロジェクトマネージャー：ヤスミン アフマド マフムード (Mrs.)
国際局職員であり、2017年3月より休職中。
- (e) サブプロジェクトマネージャー：シャイマー ワエル (Mrs.)
国際局職員であり、2017年10月より配置されている。

- (2) カウンターパート配置：4人
上記(1)実施体制と同じ

(3) 執務室の提供等：

プロジェクト当初から CAPMAS より提供を受けている内容は以下である。

- 1) プロジェクト用執務室（冷房完備）
- 2) 会議用大型テーブルセット
- 3) 専門家、スタッフ用 PC
- 4) 専門家、スタッフ執務用デスクセット
- 5) 来客用ソファセット
- 6) 書類整理棚
- 7) インターネット回線
- 8) Vodafone Pocket Wi-Fi
- 9) SAMSUNG Pro Xpress M4020ND Printer
- 10) IP 電話（内線用）

(4) その他先方政府負担事項：

セミナー、ワークショップ等の会議費、及び、専門家送迎、フィールド視察・調査時等の車両関連経費等があるが、金額は明示できない。

1-3 Activities (Planned and Actual)

人口センサス、経済センサスの調査の実施時期等の遅れはあったが、プロジェクトの枠組み、成果を大きく変更した要因はない。

2. Achievements of the Project

2-1 Outputs and indicators

(Target values and actual values achieved at completion)

(1-1) The advice and training result are applied to statistical planning, field work and data processing

- Means of verification: Reports mentioned in 1-2, 1-3, 1-4 / Observation and interview with CAPMAS staff (Project reports)

→達成

日本での 4 回の本邦研修及び 5 回の短期専門家セミナーや日常的な長期専門家の助言等を通じて統計調査実施計画、調査実施手法及び IT 技術を利用したデータ処理・公表手法について多くの成果を挙げた。

2018 経済センサスに関しては、日本の経験に基づく助言に沿って、調査事項、調査集計に際してのデータ処理、調査マニュアル整備等を行い、2019 年 10 月の公表に向けて作業を行っているところ。

消費者物価指数については、データ収集手法として日本のタブレットでの収集方式を本邦研修時に得た知識を参考に、ナイル大学の支援を得て調査票への記入なしにタブレットによるデータ収集方式を導入することとなった。

(1-2) Monthly basis Labor Force Survey is conducted from quarterly basis.

- Means of verification: Report of Labor Force Survey

→達成

月次ベースの労働力調査の実施に関しては、エジプト政府内及び国際機関（ILO、IMF、国連等）からも長年の要請があった。CAPMAS 内での検討や日本の経験に基づく多くの情報収集をへて CAPMAS はこれまでの四半期ベースから月次ベースの調査に向けてその方法論の検討を行った。

月次化にあたって、まず初めに調査手法の変更を行った。これまでの四半期ベースの労働力調査では、質問票は 3 か月間に 5 回の収集を行っていた（1 か月目及び 2 か月目：2 回（各 2 週間）、3 か月目：1 回（1 週間））。月次ベースにするためには各月の収集機会を均等にする必要がある。3 か月目にもう 1 回

収集機会を増やすこととし、2018年4月から3か月に6回（各月2回）の収集を行うこととした。

次にサンプル設計に関し、現在使用している2006年人口センサスを基にした設計から新たな2017年センサス結果に基づくサンプル設計見直しを行う必要があった。2017年センサス結果に基づく新たなマスターサンプルは2006年センサスに基づく既存のマスターサンプルの2倍の数となり、サンプル品質の向上が期待されるため、2019年1月に完成した2017年基準の新たなマスターサンプルに徐々に置き換えることとした。

労働力調査はパネル調査方式で実施されている。パネル調査とは、一気にサンプル世帯が交代することで、結果数値に大きな乖離がおこることを避けるため、毎月の調査のうち半数の調査世帯は前年の調査世帯から得ている。例えば2018年1月の調査対象世帯は2019年1月も対象となる。つまり同月について2か年調査対象となり、毎月の調査世帯の半数を変更していく方式をとっている。調査の品質を確保するためには妥当な方式で日本をはじめ広く採用されている方式である。

つまり調査世帯は2019年1月調査から新マスターサンプルに各月半数ずつ置き換えを行うこととなる。結果としてすべてのサンプルが新たなマスターサンプルをもとにしたサンプルに置き換わるのは2020年1月となり、2020年1月結果が公表される2020年2月に初めて新マスターサンプルに基づく月次データがそろふこととなる。全て新たなサンプルを使用したデータの公表はその時点つまり2020年1月分から実施を予定している。

CAPMASとしては、2020年1月分の公表までは旧サンプルを含んだ形で月次データを参考数値として作成するものの、その結果については内部利用にとどめたいとしており、正式な公表は2020年1月分以降となる。この判断は適切な判断と考えられる。

(1-3) E-Commerce and Trade in-service data are properly tabulated in Economic Census

- Means of verification: Report of Economic Census or Economic survey

→一部達成

多くの統計担当者は電子商取引等新たな経済活動の把握を行うことの重要性を認識しており、エジプトにおいても他の先進国と比べて非常に遅いスピードとはいえ日々これらの活動は拡大しつつある。

日本における電子商取引の把握に関する手法については、本邦研修や短期専門家セミナーで紹介してきた。長期専門家から CAPMAS への提案として第一番目として事業所単位の調査である経済センサス、第二番目として世帯を単位とした調査である HIECS（家計調査）に電子商取引の調査事項を追加する方式を示した。結果として 2018 年経済センサスにおいて電子商取引に関する調査事項が日本の経済センサス活動調査をモデルとして追加された。HIECS についても 2019/2020 調査に追加すべく現在協議中である。経済センサスの結果については 2019 年 10 月に公表される予定である。

サービス貿易に関しては、経済センサスに関して財に関する貿易データは把握しているものの、サービス貿易に関しては、経済センサスでの把握範囲ではない。CAPMAS では国際収支統計データを収集しているエジプト中央銀行のデータの利用が必須であるため、同銀行のデータ利用の可能性を打診しているところであるが、現時点で共有ができていない状況である。CAPMAS 内では経済部内にサービス貿易データに関するチームを立ち上げ、同データの収集方法の検討を行うとともに、最も重要なデータである国際収支データの獲得に関し、引き続き同銀行とのデータ利用の可能性を協議していきたいとしている。

(1-4) Grid Square Statistics method is implemented for dissemination of the Census 2017 result

- Means of verification: Report of the Census 2017

→達成

メッシュ統計情報は統計における地域分析に重要な役割を果たしていることから、CAPMAS は 2017 年人口センサスの計画の時点に新たな取り組みとしてメッシュ統計作成を決定した。センサス開始前に地理情報システム（GIS）担当は全国の地図を作成し統計目的での利用に備えた。日本での作成手法及び分析事例については本邦研修時に統計局及び Sinfonica（（公財）統計情報研究開発センター）がそのノウハウ等経験を提供した。とりわけ小地域分析の今後の可能性については CAPMAS にとって今後経験していくために極めて重要な情報であった。

これらの日本との知識の共有をもとに、2017 年センサス情報を始めとする統計情報については既に部内利用としてのメッシュ統計の公表を行った。

外部利用に関しては、ESRI の財政及び技術支援により Geo-Portal サイトを提供する方向で作業を終えた。現在外部利用の可能性は情報省との協議の結果を

待っている状況である。外部利用が可能になれば政府関係者のみならず、学術分野、民間セクターでの研究者の利用が可能となるため地域分析の利点をより得られる可能性がある。

(1-5) Guideline for statistical quality assurance is prepared.

- Means of verification: Guideline for statistical quality assurance

→達成

「公的統計の品質」とは、正確性のみならず、利用者ニーズの適合性、公表の適時性、統計データの解釈可能性などを含む概念である。日本においては、このガイドラインは行政機関における利用者のニーズに対応した公的統計の作成・提供、その品質の表示・評価・改善を通じ、公的統計の有用性及び信頼性の確保・向上を目指す「品質保証」の活動を推進するための標準的な指針として作成した。

この日本の経験を基に、CAPMASにおいてもガイドライン作成に向けて検討を行った。国連におけるワーキンググループでの経験（日本、エジプトとも参加国）も合わせてCAPMAS内で素案を作成し、各部との協議を終えたのち正式に「公的統計の品質ガイドライン」として策定した。今後の統計活動における指針として取り扱われることとなる。

(1-6) New methodologies are added to HIECS.

- Means of verification: Draft Questionnaire and manual for HIECS

→達成

HIECS（家計調査：世帯の収入、支出及び消費状況調査）は世帯の消費実態や個人の生活水準を図るのみでなく消費者物価指数測定のためのウェイト付けやGDPデータ測定の基礎データとして利用されるなど極めて重要なデータを提供している。CAPMASにおいては2008/2009年から2年ごとに調査実施となった（それ以前は5年ごと）。

2015年調査から調査員によりラップトップへの入力等電子化した収集が行われている。直近の調査は2017/2018（2017年10月から2018年9月実施）調査であり、2019年7月に公表された。

次期調査については、2019/2020年調査を2019年7月から2020年6月に実

施しすることを計画していたが、2017/2018 調査の公表の遅れと、前回調査からちょうど2か年を経過した2019年10月から2020年9月に実施する方向で予定している。

次期調査の調査手法及び質問票については、CAPMASは過去の調査との継続性及び実査の困難性を避けるため、基本的には従前の手法、調査票を踏襲することを決定した。その中で、調査票については新たな経済事象を反映することや各種の要望を確認するために関係省庁に意見を聞いた。結果として社会連帯省の要請に応じて世帯支出のための財政支援金の項目の追加を決定した。一方で日本の消費実態調査（家計調査の補足調査として毎年実施）で把握している電子商取引情報を項目として追加することを検討中である。日本の調査票様式等を示しており、それらを参考にどのように調査票内に取り込むかCAPMAS担当内で検討を行った。しかしながら、今回の調査の項目への導入は時期尚早であると考えられ、次回の検討に見送られた。

調査マニュアルについては基本的には従前のマニュアルに新調査事項を加えて作成することとなっている。大幅な変更はない。

(2-1) The level of understanding of CAPMAS staff on Japan's practice on sampling methods for statistical studies is improved.

- Means of verification: Training reports/Observation and interview with CAPMAS staff (Project reports)

→達成

これまでの各種研修参加者からのヒアリング調査の結果、50名の職員がサンプル手法の理解レベルが改善したと回答した（74名の研修参加者から50名の有効回答を得た）。

これまでの検討経緯は以下のとおり。

2017年年人口センサスに基づくサンプル手法に関しては、日本側の専門家との継続的協議及び本邦研修、短期専門家セミナーを通じて検討を行ってきた。そのなかでの討議のポイントはマスターサンプル手法の問題点に関するものであった。2017年センサスにおいては電子化したデータの利用がより容易となったため全母集団からサンプルを抽出する方法にすべきではないかとの日本側の主張に対し、CAPMAS内でもマスターサンプルの代表性の問題を中心に議論を行った。数回の日本側との意見交換を経て、最終的にはCAPMASとしては予算上の問題及び時間的制約を考慮して、マスターサンプル方式を継続することと

した。ただし、その品質をより向上させるためマスターサンプルの数を 2 倍にすることとした。日本側はその変更を理解を示した。

多くの関係者との意見交換ののち新たな方式をとることとし、この間に多くの関係者がサンプル方式に関する理解を向上させた。

(2-2) More than 50 capable staff to conduct statistical studies such as Labor Force Survey etc. with the improved sampling method.

- Means of verification: Reports of statistical studies/Observation and interview with CAPMAS staff (Project reports)

→一部達成

労働力調査等直接に調査活動に関する能力向上については、これまでの各種研修参加者からのヒアリング調査の結果、74 名中 50 名の職員から有効回答を得たが、業務上の改善については実際に調査を担当している 35 名のみが改善したと回答した。実際の調査活動に携わる者については今後の各種調査実施時点において、研修参加者からの波及効果が期待されるため 50 名を超えることが期待される。

(3-1) Accuracy check methods are clarified by August 2017.

- Means of verification: Project references

→達成

CAPMAS は 2017 年 8 月に 2017 センサス結果の精度検証手法として age-cohort analysis 及び time series analysis を実施することを決定した。

検討経緯は以下のとおり。

一般的にセンサス結果の精度検証手法の一つとして事後調査の実施が必要との認識がある。CAPMAS においても 2006 年センサスの事後調査が 2008 年に実施された。2017 年に実施された第 1 回本邦研修及び短期専門家セミナーを通じて、意見交換が行われ、その後 CAPMAS とチーフアドバイザーとの協議において精度検証手法を明確にした。議論の結果として CAPMAS は予算面及び早急な経済センサスの実施の必要性との兼ね合いで事後調査の必要性が低下することにより、実施を断念した。

経済センサスを優先するとの CAPMAS の判断により、CAPMAS 及び専門家との協議において、日本側短期専門家から精度検証の手法として 1) 年齢コーホート分析及び 2) 時系列分析の 2 点の実施が可能性として提案された。その結果 CAPMAS は事後調査に替えて両手法を実施することとした。(検討過程において日本側からは行政データや他の調査との比較についても提案されたが、エジプトにおける他のデータソースの入手困難性からこれらの比較については断念することとした。)

二つの精度検証手法の実施手法については、2018 年 1 月の短期セミナーにおいて実際のデータを利用した精度検証手法の実習が行われた。これらの実習や 2018 年 10 月の本邦研修での指導を通じてどのようにこれらの 2 手法を実施するかを議論した。その過程として最終的に 2019 年 1 月の短期セミナー時に CAPMAS は 2 手法についての報告を行い、その内容について日本側と意見交換を行った。両手法に関しての正当性の認識は共有できたと考える。

(3-2) More than 50 capable staff to conduct improved accuracy check of the result of the Census 2017.

- Means of verification: Reports on accuracy check results/Observation and interview with CAPMAS staff (Project reports)

→ほぼ達成

これまでの各種研修参加者からのヒアリング調査の結果、46 名の職員が日本の協力によって提供された手法を利用して 2017 年センサスの結果について改善された精度検証を実施できたと回答した (64 名の研修参加者から 54 名の有効回答を得た)。

精度検証に関する年齢コーホート及び時系列分析に関しては、直接これらの活動に関する者が限られるものの初めての実施ということもあり、多くの賛同を得た。実際の分析活動に関わらない場合であっても、今後においてこういった分析手法の重要性に関し、研修参加者からの波及効果が期待されるため 50 名を超えることが期待される。

2-2 Project Purpose and indicators

(Target values and actual values achieved at completion)

(1) Based on the result of the Census 2017 with improved quality, sampling framework necessary to conduct other statistical studies (sampling studies) is properly designed.

- Means of verification: CAPMAS internal references on sample surveys

→達成

2017年センサスの結果に基づき2019年1月にマスターサンプルが策定された。この新たなマスターサンプルは労働力調査やHIECS（家計調査）をはじめとするCAPMASで実施される世帯調査に関するサンプル調査に利用されることとなった。

2017年センサス結果に基づくメッシュ統計についても策定を終えた。

(2) Guideline/manuals on Censuses (Census 2017 and Economic Census) and other statistical studies management (e.g. data processing, E-Census and e-survey, utilization of tablet devices, sampling, data accuracy check) is updated/improved.

- Means of verification: Guideline/manuals on Censuses and other statistical studies

→達成

「2017人口・住宅及び事業所センサスマニュアル」を作成した。同マニュアルの英語版については国連等の国際会議において2017年センサス結果の報告に際して利用されるとともに、とりわけ開発途上国の統計機関の人口センサスにかかる有益な情報として効果的に利用されている。2017年センサスの方法論に関するアラビア語版資料についてもウェブサイトに掲載されている。

「第5回経済センサス実施マニュアル」についても作成され、追って英語版も作成済みである。今後経済センサス公表後の各種国際会議での結果紹介の際に途上国統計機関を含む各方面での利用が期待される。

(3) The accuracy of the Census 2017 to be measured by the accuracy check methods is improved compared to that of the 2006 Census.

- Means of verification: Reports on accuracy check results (age-cohort analysis, comparison with other statistical data, post-enumeration survey, quality control etc.)

→達成

2017年8月に年齢コーホート分析及び時系列分析の2手法を2017年センサスの精度検証手法として取り扱うことを決定した。それを受け検討を開始し、2018年10月の第3回本邦研修時に具体的実施手法を日本側と最終確認したのち、2019年1月に同分析に関する最終報告が提出された。日本側専門家と同報告に関する協議を行い意見交換を行った。CAPMAS側からも日本の経験に関する様々な質問等確認が行われた。とりわけ高齢者に関する同分析の取組手法の議論が行われた。これらの手法の両者の理解のためにも意見交換の場は有益であった。

最終的には研修等参加者のうち46名が具体的に同手法の扱いを理解するとともに、CAPMASの努力の成果として初めて同手法に関する報告を提出することができた。日本側専門家からは同手法等の結果に関するCAPMASの説明責任の重要性、とりわけ年少人口における過去データとの差異への説明が特に指摘されCAPMAS側が回答した。初めての分析でもあり今後の調査時にも参考となることが期待される。

3. History of PDM Modification

PDMはプロジェクト実施中、2回の改訂を行った。

- 1) 第1回改訂（署名日：2017年4月18日、実効日：2017年4月9日）

1. Project purpose and Outputs

Original dated on 22 nd December 2015	Amended Version
Shown as II OUTLINE OF THE PROJECT (page 4 to 5), 3. Project Purpose and 4.	

<p>Outputs are as follows;</p> <p>3. Project Purpose Capacity of CAPMAS to effectively manage the Census for 2016 and other statistical studies is strengthened.</p> <p>4. Outputs</p> <p>1) Statistical planning, fieldwork and data processing are implemented effectively and with high quality using IT application.</p> <p>2) The capacity on sampling method is improved in quality.</p> <p>3) The post-enumeration survey for the Census 2016 is conducted properly in accordance with the international standards.</p>	<p>3. Project Purpose Capacity of CAPMAS to effectively manage the Census for 2017 and other statistical studies is strengthened.</p> <p>4. Outputs</p> <p>1) Statistical planning, fieldwork and data processing are implemented effectively and with high quality using <u>necessary</u> IT application.</p> <p>2) (same as Original)</p> <p>3) <u>Accuracy check of the result of the Census 2017 data (including advice of the post-enumeration survey method and quality control)</u> is conducted properly in accordance with the international standards.</p>
<p>改訂理由：</p> <p>-ITの活用は統計計画、フィールドワーク、データ処理を効率的に行うための手法の一つであり、必ずしも必須でないことから、標記をより明確にするため“necessary”を挿入した。</p> <p>-データの品質向上のためには、事後調査だけではなく、事後調査手法、品質管理を含む精度検証にかかる助言も必要なため、その旨の記載を追記した。</p>	

2. Input

Original dated on 22 nd December 2015	Amended Version
<p>Shown as II OUTLINE OF THE PROJECT (page 5), 6. Input describes as follows;</p> <p>(1) Input by JICA</p> <p>(a) Dispatch of Experts</p> <p>[Long-term]</p> <p>・ Project Coordinator <u>(Work Management / Quality Control)</u></p>	<p>(1) Input by JICA</p> <p>(a) Dispatch of Experts</p> <p>[Long-term]</p> <p>・ <u>Chief Advisor</u></p> <p>・ <u>Project Coordinator</u></p>
<p>改訂理由：</p> <p>実績では長期専門家として統計・品質管理を担当しているチーフアドバイザーと業務調整</p>	

員が派遣されているため、記載を修正した。

2) 第2回改訂（署名日：2018年10月29日、実効日：2018年10月29日）

1. Duration of the Project

Original dated on Dec. 22 nd , 2015	Amended Version
Shown in Appendix 1, II. OUTLINE OF THE PROJECT, 9. Duration is stated as follow: Three (3) years from the date of first arrival of a Japanese expert in Egypt.	The duration of the Project will be three (3) years and seven (7) months from the date of first arrival of the JICA experts, which was on March 22 nd , 2016.

改訂理由：

2018年6月の運営指導調査団来訪時、プロジェクト目標、成果、自立発展性の観点から、CAPMAS側関係者とプロジェクトの延長の必要性について協議を行った。その結果、以下の活動を支援するため、2019年10月までプロジェクトを延長することで合意した。

- a) 2018年10月初旬から実施予定の経済センサスのためのフィールドワーク、及びデータ処理
- b) 2019年10月から実施予定のHIECSのための準備作業
- c) 労働力調査月次化にかかわるサンプリング手法の改定
- d) 統計データ精度検証にかかわるガイドラインの策定

2. Project Purpose

Revised dated on 18 th April, 2017	Amended Version
Shown in Appendix 2, 1. Project Purpose is stated as follow: Capacity of CAPMAS to effectively manage the Census 2017 and other statistical studies is strengthened.	Capacity of CAPMAS to effectively manage the Census 2017 and other statistical studies (<u>footnote 1</u>) is strengthened. <u>(footnote 1)</u> <u>'other statistical studies' indicates specifically Labor Force Survey and Household Income, Expenditure and</u>

	<u>Consumption Survey (HIECS).</u>
--	------------------------------------

改訂理由：

2018年6月の運営指導調査団来訪時、プロジェクト目標に記載の「その他の調査」についてCAPMAS側と協議した結果、プロジェクトが支援する「その他の調査」とは、具体的には労働力調査とHIECSであることを確認した。その記載を補足説明として追記した。

3. Objectively Verifiable Indicators of Project Purpose

Revised dated on 18 th April, 2017	Amended Version
<p>Shown in ANNEX 2 PDM of Appendix 2, Objectively Verifiable Indicator of Project Purpose is stated as follow:</p> <p>2. Guideline/manuals on Censuses and other statistical studies management (e.g., data processing, E-Census and e-survey, utilization of tablet devices, sampling, data accuracy check) is updated/improved.</p>	<p>2. Guideline/manuals on Censuses (<u>Census 2017 and Economic Census</u>) and other statistical studies management (e.g., data processing, E-Census and e-survey, utilization of tablet devices, sampling, data accuracy check) is updated/improved.</p>

改訂理由：

2018年6月の運営指導調査団来訪時、プロジェクト目標の客観的証明可能な指標として記載されている国勢調査とは、センサス2017年と経済センサスである旨を追記した。

4. Objectively Verifiable Indicators of Output 1

Revised dated on 18 th April, 2017	Amended Version
<p>Shown in ANNEX 2 PDM of Appendix 2, Objectively Verifiable Indicators of Output 1 are stated as follow:</p> <p>1-1. The advice and training result are applied to statistical planning, fieldwork and data processing.</p> <p>1-2. Monthly basis Labor Force Survey is conducted from quarterly basis.</p> <p>1-3. E-Commerce and Trade in-service data</p>	<p>1-1. The advice and training result are applied to statistical planning, fieldwork and data processing.</p> <p>1-2. Monthly basis Labor Force Survey is conducted from quarterly basis.</p> <p>1-3. E-Commerce and Trade in-service data</p>

are included in the surveys. 1-4. Grid Square Statistics method is implemented for dissemination of the Census 2017 result. 1-5. Guideline for statistical quality assurance is prepared.	are <u>properly tabulated</u> in <u>Economic Census</u> . 1-4. Grid Square Statistics method is implemented for dissemination of the Census 2017 result. 1-5. Guideline for statistical quality assurance is prepared. <u>1-6. New methodologies are added to HIECS.</u>
---	---

改訂理由：

- 2018年6月の運営指導調査団とCAPMAS側関係者が協議した結果、プロジェクトの支援範囲を明確にするため、成果1の客観的証明可能な指標について、フィールドワーク、データ処理、経済センサスにかかる電子商取引とサービス貿易を追記した。
- 2018年6月の運営指導調査団来訪時、プロジェクトはHIECSに対してセンサス2017年の結果をもとに新たな手法を導入して支援することを調査団とCAPMAS双方で合意した。それにより1-6として新たな指標を追加した。

4. Others

4-1 Results of Environmental and Social Considerations (if applicable)

4-2 Results of Considerations on Gender/Peace Building/Poverty Reduction (if applicable)

III. Results of Joint Review**1. Results of Review based on DAC Evaluation Criteria**

(1) Relevance (妥当性)

①開発政策との整合性と②開発ニーズとの整合性

CAPMASは、エジプト政府のさまざまな政策立案を作成するための基礎データを提供する立場にあり、政府内各機関のみでなく国際機関や内外の民間セクターにおいても、そのデータの信頼性を損なわない的確なデータ提供が要請されている。

一方で、2015年9月に国連総会で採択された2030SDG（持続可能な開発目標）は、それ以前に採択されていたMDG（ミレニアム開発目標）（2001－2015）

の経験を基にしたより具体的な開発目標を定める国際基準であり、エジプトもこれらの基準に沿ったデータを整備する必要がある。その整備にあたって統計データ発信の中心的役割を担っているのが CAPMAS であり、本件プロジェクト事業に関してもこれらの基本的目標を目指して計画しアプローチしたものである。

個別の各種統計への品質向上の試み及び新たな統計手法への対応は、いずれも SDG への対応を究極の目標としている点でエジプト政府内各機関、国際機関への要請に合致しているものであり、そのことが内外の民間セクターを含めた統計利用への信頼性を高めていくものと考ええる。

協力期間は 3 年間であるが、その間においても毎年進捗状況の確認を行い報告書（2018 年 12 月は”Data Ecosystem Report to Enhance Sustainable Development in Egypt”）を提出する等定期的検証が行われている。

③事業計画やアプローチの適切性

既述のとおり、上位目標の達成のため、プロジェクト目標以下の各種統計への品質向上の試みは、プロジェクト発足時から常に CAPMAS 側のニーズを吸い上げて PDM を策定し、具体的には日本での研修や短期専門家のセミナー・ワークショップの開催などを通じて対応を図ってきた。

これまで総務省統計局が行ってきた統計支援は、統計調査作成能力が低く自らが対応できない国に直接に作成に関与するため機材供与を含めた全面支援型のものが多く、今回のエジプトのように中程度に統計作成能力が備わっており、かつ統計活動も歴史的に見て経験が多い国への支援方式は初めてである。

エジプトでの支援は統計の品質向上に向けての側面支援型のものであり、直接的にプロジェクトが新しく調査を実施する等の形ではなかった。よって統計品質向上のため、細かく CAPMAS のニーズを把握するというアプローチで支援内容を決定することが対応策として不可欠であった。こういった経験を日本側（総務省統計局）が共有できたことは、今後の途上国支援方策として、機材供与型や統計作成全面支援型でない、あらたな統計支援の先例としても極めて有益であったと考える。

(2) Effectiveness（有効性）

PDM に設定された指標の達成度を見ると、プロジェクト目標をほぼ達成したと考えられる。

(3) Efficiency（効率性）

①事業費

事業費の計画：437.62 Million Japanese Yen

事業費の実績：185.22 Million Japanese Yen

②事業期間

事業期間の計画：2016年3月20日から2019年3月19日

事業期間の実績：2016年3月20日から2019年10月19日

2018年6月の運営指導調査団来訪時、プロジェクト目標、成果、自立発展性の観点から、以下の活動を支援するため、2019年10月までプロジェクトを延長した。

- 2018年10月初旬から実施予定の経済センサスのためのフィールドワーク、及びデータ処理
- 2019年10月から実施予定のHIECSのための準備作業
- 労働力調査月次化にかかわるサンプリング手法の改定
- 統計データ精度検証にかかわるガイドラインの策定

③因果関係

成果1：統計企画・実地調査・データ処理が効果的（必要であればITを活用して）に実施される。

1) 2017年人口・住宅センサス準備段階での主な投入

- 2016年3月の専門家による日本の統計制度、国勢調査、オンライン国勢調査システム、統計調査における品質保証の枠組にかかわるセミナーの開催
- 2016年10月の専門家による品質管理にかかわるセミナーの開催
- 2016年11月の専門家による日本の官庁統計のシステム、日本における国際統計機関との関係、品質管理活動にかかわるセミナーの開催、
- 2016年12月に品質管理・通信用にタブレット450台の供与

上記日本側投入の結果、タブレット端末によるE-センサスが2017年2月から7月まで実施された。投入の質、量、タイミングは適切であり、効率的であったと認められる。

2) 2018年経済センサス準備・実施段階での主な投入

- 2018年1月の専門家による経済センサスの事前の調査対象事業所名簿の整備と調査事項の設定にかかるワークショップの開催
- 2018年7月の専門家による経済センサスの集計・審査、経済センサスの

実施手法・品質管理にかかわるワークショップの開催

- 2019年2月の専門家による経済センサスデータ処理にかかわるワークショップの開催
- 2017年9月の第1回本邦研修による経済センサスの概要(H26基礎調査)、経済センサスの概要(H28活動調査)、経済センサスの審査・集計方法の概要
- 2018年2月の第2回本邦研修による経済センサスの概要(H26基礎調査)(ローリングセンサスの紹介を含む)、経済センサスの概要(H28活動調査)及び討議(エジプト経済センサス紹介含む)、経済センサスの審査・集計方法の概要、経済センサスの調査区設定、経済センサス活動調査のオンライン回答システムの概要

上述の日本側投入の結果、経済センサスは2018年10月から2019年5月まで実施された。研修の実施と専門家の指導には成果との因果関係が認められ、且つ、投入の質、量、タイミングは適切であり、効率的であったと考えられる。

成果2：サンプリング手法が品質面で向上する。

マスターサンプルの作成、パネルサーベイ法の導入にかかわる主な投入

- 2016年3月の専門家による標本抽出にかかるセミナーの開催
- 2018年1月の専門家による労働力調査における標本設計(抽出方法、標本の大きさ、層化の具体例、及びサンプルローテーション)にかかわるワークショップの開催
- 2017年9月の第1回本邦研修による標本抽出論1(概要)、労働力調査の標本抽出の考え方、就業構造基本調査の標本抽出の考え方
- 2018年2月の第2回本邦研修による標本抽出(概論)、サンプリング手法討議(エジプトにおけるマスターサンプリング方式紹介と討議)
- 2018年9月の第3回本邦研修による労働力調査の概要(サンプリングを含む)、労働力調査の手法討議(エジプトの労働力調査紹介と討議)、標本抽出(概論)、サンプリング手法討議(エジプトにおける最新マスターサンプリング作成の現況紹介と討議)

上述の日本側投入の結果、2019年1月にマスターサンプルが作成され、そのマスターサンプルを使用したパネルサーベイ法が導入されたことで、労働力調査月次化への公表の準備が進んでいる。これにより研修の実施と専門家の指導には成果との因果関係が認められ、且つ、投入の質、量、タイミングは適切であり、効率的であったと考えられる。

成果 3 : 2017 年人口・住宅センサス結果の精度検証について、事後調査手法及び品質管理についての助言を含め、国際標準に沿って適切に実施される。

精度検証手法にかかわる主な投入

- 2016 年 3 月の専門家による事後調査にかかるセミナーの開催
- 2016 年 11 月の専門家による 2017 年国勢調査品質管理・事後調査にかかるワークショップの開催
- 2017 年 7 月の専門家による 2017 年国勢調査精度検証・事後評価にかかるワークショップの開催（精度検証手法の決定）
- 2018 年 1 月の専門家による精度検証手法（年齢コーホート分析、時系列分析）の作成方法及び結果データの解釈方法にかかるワークショップの開催
- 2019 年 2 月の専門家による年齢コーホート分析手法・時系列分析手法の検証にかかるワークショップの開催（精度検証手法結果データの検証）
- 2017 年 9 月の第 1 回本邦研修によるコーホート分析手法等人口センサスの精度検証手法
- 2018 年 9 月の第 3 回本邦研修による国勢調査における品質管理の概要及び討議（エジプトの年齢コーホート分析の現状紹介を含む）

上述の日本側投入の結果、2017 年 7 月に精度検証手法の決定（年齢コーホート分析、時系列分析）、2019 年 1 月の専門家による CAPMAS 側が作成した精度検証手法結果データの検証を実施した。これにより研修の実施と専門家の指導には成果との因果関係が認められ、且つ、投入の質、量、タイミングは適切であり、効率的であったと考えられる。

(4) Impact (インパクト)

①上位目標の達成予測

上位目標の達成予測については(IV.1 Prospects to achieve Overall Goal)に記載したとおり。

なお、上位目標の達成目標年は、国際合意である2030SDGの動向に影響されることとなるが、毎年活動経過報告が提出されることから、その状況を見極めつつ判断されることとなる。国際合意では現時点で2030年为目标年とされている。エジプト政府内のみでなく世界基準への要請対応が求められる。

②因果関係

上位目標達成のために、プロジェクト目標は作成された。プロジェクト目標から上位目標に至るまでの外部条件は、現時点でも適切である。

③波及効果

上位目標は長期に及ぶものであるため、現状では上位目標以外の効果・影響を想定できない。

また、マイナスの影響についても想定できない。

(5) Sustainability (持続性)

①政策・制度面

CAPMASは統計作成及び公表に関し、エジプトにおける中心的機関である。データ作成・提供機関として政府全体からのバックアップが確立されており、2030年SDGに向けてもCAPMASを中心にした継続的対応が可能となっている。

②実施機関の体制

組織内部、組織間の責任・体制、人材の有無に関し積極的な対応ができている。職員構成にアンバランス(50歳以上職員が半数以上)があるため、将来の職員への研修等を通じた支援強化が急がれている。本プロジェクトに対する協力体制は、カウンターパートとの常日頃からの連絡協議体制が確保されており、そのオーナーシップは強固な形で確保されている。

③実施機関の技術

CAPMAS組織内部及び日本を含めた外部での各種研修等を通じて技術は確保されている。

④実施機関の財務

事業実施に大きな支障を生じない程度に必要な財源確保がされており、今後ともCAPMAS業務の重要性にかんがみ確保される見込みである。

以上の各視点であげられる事項は確保されており、将来的にも十分な見通しがあるため、持続性は高いと考えられる。

2. Key Factors Affecting Implementation and Outcomes

プロジェクトに負の影響を及ぼした事項はない。

3. Evaluation on the results of the Project Risk Management

特になし。

4. Lessons Learnt

今後の類似案件への教訓としては、以下のことがあげられる。これらはリスクとは言えないものの、実施中の注意事項として考える必要がある。

一番気になる点は調査予定や調査結果公表の度重なる遅延、変更である。開かれた公的統計が目指すべきものは、調査手法や調査実施、公表過程の国民への開示であり、事前周知である。統計への信頼性を高めるために何のためにどのような統計調査をどういった方法で実施するかを事前に国民に周知する必要がある。こういった周知は政府決定の形で行うべきであり、単純に1統計機関が決定することは的確ではない。

IV. For the Achievement of Overall Goals after the Project Completion

1. Prospects to achieve Overall Goal

①上位目標の達成の見込み

上位目標の達成目標年は、国際合意である2030SDGの動向に影響されることとなるが、毎年活動経過報告が提出されることから、その状況を見極めつつ判断されることとなる。国際合意では現時点で2030年为目标年とされている。エジプト政府内のみでなく世界基準への要請対応が求められる。

上位目標達成のために、プロジェクト目標は作成された。プロジェクト目標から上位目標に至るまでの外部条件は、現時点でも適切である。

CAPMASは統計作成及び公表に関し、エジプトにおける中心的機関である。データ作成・提供機関として政府全体からのバックアップが確立されており、

2030年SDGに向けてもCAPMASを中心にした継続的対応が可能となっている。

②持続性の確保

CAPMAS 組織内部、組織間の責任・体制、人材の有無に関し積極的な対応ができています。職員構成にアンバランス（50歳以上職員が半数以上）があるため、将来の職員への研修等を通じた支援強化が急がれている。本プロジェクトに対する協力体制は、カウンターパートとの常日頃からの連絡協議体制が確保されており、そのオーナーシップは強固な形で確保されている。

実施機関の技術についても CAPMAS 組織内部及び日本を含めた外部での各種研修等を通じて技術は確保されている。

実施機関の財務についても事業実施に大きな支障を生じない程度に必要な財源確保がされており、今後とも CAPMAS 業務の重要性にかんがみ確保される見込みである。

2. Plan of Operation and Implementation Structure of the Egyptian side to achieve Overall Goal

上位目標は CAPMAS を中心とした政府内の統計作成部局がプロジェクト目標等に掲げた個別の統計活動を円滑かつ適切に行っていく過程で達成されるものである。常日頃の統計活動が成果を導くため、CAPMAS の組織体制、組織間の責任・体制、人材育成に関する積極的な関与が求められる。職員構成にアンバランス（50歳以上職員が半数以上）があるため、将来の職員への研修等を通じた支援強化が急がれている。本プロジェクトに対する協力体制は、カウンターパートとの常日頃からの連絡協議体制が確保されており、統計活動実施に際した問題点の把握、人材育成のための研修方式の検討等そのオーナーシップは強固な形で確保されている。

実施機関の技術についても CAPMAS 組織内部及び日本を含めた外部での各種研修等を通じて技術は確保されている。

実施機関の財務についても事業実施に大きな支障を生じない程度に必要な財源確保がされており、今後とも CAPMAS 業務の重要性にかんがみ確保される見込みである。

3. Recommendations for the Egyptian side

一番気になる点は調査予定や調査結果公表の度重なる遅延、変更である。開

かれた公的統計が目指すべきものは、調査手法や調査実施、公表過程の国民への開示であり、事前周知である。統計への信頼性を高めるために何のためにどのような統計調査をどういった方法で実施するかを事前に国民に周知する必要がある。こういった周知は政府決定の形で行うべきであり、単純に1統計機関が決定することは的確ではない。この点に関し以下の提言を行いたい。

①統計審議組織の再稼働

政府各省及び学識・民間団体代表による統計審議組織を設置し、かつてCAPMASに設置されていた統計審議組織の活動を再稼働させる。同審議組織によりCAPMASが作成した統計計画に関し調査準備段階から検討を行い方向性を導く機能をもたせる。

②統計調査計画の策定

統計調査等統計活動には調査準備に十分な時間の確保を行い、財源についても中長期的に確保することを可能にするため、今後3年から5年にかけての調査実施計画を洗い出し、スケジュールを決定する。こういった計画を立てることで必要な財源確保や必要な人的資源を予測することや資源配分を年度ごとに行うことが可能となる。エジプトにおいて中長期の予算計画を作成することは難しいことは承知しているが、少なくともどのタイミングでどの調査を実施するか、どのようなデータを定期的に得るかを検討することは可能ではないかと考える。

4. Monitoring Plan from the end of the Project to Ex-post Evaluation

(If the Project will be continuously monitored by JICA after the completion of the Project, mention the plan of post-monitoring here.)

ANNEX 1: Results of the Project

(List of Dispatched Experts, List of Counterparts, List of Trainings, Revised Plan of Operation, etc.)

専門家派遣リスト

長期専門家（2人）

No.	氏名	役職・分野	期間
1	松尾 和彦	チーフアドバイザー・統計/ 品質管理	2016年6月22日から 2019年10月19日まで
2	加藤 大二郎	業務調整・研修計画	2016年6月16日から 2019年10月19日まで

短期専門家（19人）

No.	氏名（派遣次）	役職・分野	期間
1	松尾 和彦 （第1次）	総務省政策統括官（統計基準 担当）付統計審査官室副統計 審査官・統計/品質管理	2016年3月20日から 2016年3月24日まで
2	小林 良行 （第1次）	総務省統計研究研修所教 授・標本抽出	同上
3	濱田 澄子 （第1次）	総務省統計局統計情報シス テム課開発企画第二係係 長・IT（情報技術）	同上
4	阿久津 文香 （第1次）	総務省統計局統計調査部国 勢統計課研究分析係係長・事 後調査	同上
5	伊藤 孝雄 （第2次）	総務省政策統括官（統計基準 担当）国際統計研究官・統計 法、統計委員会、国際統計	2016年11月25日から 2016年12月4日まで
6	佐藤 正昭 （第2次）	総務省統計局統計調査部調 査企画課統計調査研究官・ 2017年国勢調査品質管理、 事後調査	同上
7	小林 良行 （第3次）	総務省統計研究研修所教 授・2017年国勢調査精度検 証、事後評価	2017年7月25日から 2017年7月27日まで
8	阿久津 文香 （第3次）	総務省統計局統計調査部国 勢統計課研究分析係係長・ 2017年国勢調査精度検証、 事後評価	2017年7月24日から 2017年7月31日まで
9	佐藤 正昭 （第4次）	総務省政策統括官付研究 官・統計調査手法、品質管理	2018年1月14日から 2018年1月18日まで
10	永井 恵子	総務省統計局統計調査部労	同上

	(第4次)	働力人口統計室課長補佐・労働力調査	
11	渡邊 三根夫 (第4次)	総務省統計局統計調査部経済統計課係長・経済センサス	同上
12	阿久津 文香 (第4次)	総務省統計局統計調査部国勢統計課研究分析係係長・精度検証手法(年齢コーホート、時系列分析)	同上
13	太田 将彰 (第5次)	総務省統計局統計調査部経済統計課審査発表第二係統計専門官(併)係長・経済センサス集計、審査	2018年7月29日から 2018年8月2日まで
14	姉崎 慎吾 (第5次)	総務省統計局統計調査部経済統計課指導第二係係長・経済センサスの実施手法、品質管理	同上
15	石井 鉄朗 (第6次)	(独)統計センター統計編成部経済統計企画課統括・経済センサスデータ処理	2019年2月3日から 2019年2月7日まで
16	西村 正貴 (第6次)	(独)統計センター統計情報・技術部共同利用システム課統括統計職・LOD(Linked Open Data)システムを利用した調査結果公表手法	2019年2月3日から 2019年2月4日まで
17	和田 達也 (第6次)	総務省統計局国勢統計課審査発表係長・年齢コーホート分析手法の検証	2019年2月3日から 2019年2月7日まで
18	稲垣 洋一 (第7次)	総務省統計局総務課企画官・プロジェクト総括、次期プログラム実施手法の検討	2019年9月15日から 2019年9月19日まで
19	阿久津 文香 (第7次)	総務省統計局総務課国際第一係係長・プロジェクト総括、次期プログラム実施手法の検討	同上

招聘プログラム

参加者

No.	氏名	役職 (CAPMAS)	プロジェクト上の役職
1	ガダ ムスタファ	総裁官房次官	ダイレクター
2	ホダ ムスタファー	国際局局长	サブダイレクター
3	アフマド カマール	総裁顧問	マネージャー
4	ヤスミン アフマド	国際局職員	サブマネージャー
招聘の実施期間	2017年1月29日から2017年2月4日まで		
招聘の目的	プロジェクト目標を達成するために、1) 日本における統計調査及び統計業務や研修の実情を紹介する、2) CAPMASとしての今後の活動に有益な情報を得る、3) 今後予定されている研修事項のテーマ確定のための具体的ニーズを得ることを招聘の目的とする。		
予想される成果	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のプロジェクトにおいて取り組むべき具体的な統計調査及び活動に関する事項及びそれに対する成果目標がより適切に設定できる。 ・今後長期専門家及び短期専門家が実施すべき研修、セミナーの内容を具体化できる。 ・今後実施予定の Country-focused training コースの実施内容を具体化できる。 <p>各訪問先別には以下のとおりの成果が想定される。</p> <p>1) 総務省統計局、政策統括官（統計基準担当）、統計センター：</p> <p>総務省の統計機構における業務の紹介及びとりわけ先進的に取り組んでいる事項を中心に業務を紹介し意見交換を行う。経済センサス基本調査における電子商取引の取り扱い、ビジネスレジスターへの取り組み、各府省の統計データを集合的に取り扱う e-stat 等についてはより詳細な説明と意見交換を行うことで、CAPMAS が取り組むべきニーズが把握できる。併せて総務大臣表敬を行い、本プロジェクトに関する日本の活動状況とエジプトへの貢献について大臣等総務省幹部に認識してもらうことで今後の活動の支援を得ることができる。</p> <p>2) 日本銀行調査統計局</p>		

	<p>日本銀行所管の統計分野のうち、サービス貿易の取り扱い、企業物価指数（生産者物価指数）の日本での対応等を紹介し意見交換を行うことで、CAPMAS が取り組むべきニーズが把握できる。特にサービス貿易については日銀が国連のワーキンググループのメンバーとして活動していることから先進的な活動内容を得ることができ今後の業務の参考にできる。</p> <p>3) SIAP（アジア太平洋統計研修所）</p> <p>SIAP は国連の統計研修機関であるが、日本政府としても総務省が全体の 8 割に及ぶ現金拠出及び職員派遣及び建物の現物拠出を行うとともに JICA の集団研修を受け入れている機関である。1 月に新たに所長（元インド統計局長）が赴任するため、表敬を行うとともに、実施されている研修内容（国連主催のもの JICA 主催のもの）を把握し、実施中の研修を見学することで、今後 CAPMAS として行うべき研修の内容の参考とする。あわせて関係者との意見交換で今後のニーズに沿った研修のあり方を探る。</p> <p>4) 上智大学（岩崎研究室）</p> <p>エジプトをフィールドワークとして研究されている上智大学外国語学部岩崎教授を訪ね、同教授が行っている CAPMAS 統計の現状につき CAPMAS サイドからも説明を行うとともに意見交換を行うことで HIECS 等世帯統計の外部有識者の意見を確認できる（一橋大学加藤教授同席）。</p>
--	---

研修参加者リスト

第 1 回本邦研修 研修参加者リスト

	氏名	セクター	局
1	ムハンマド アブダッラー マフムード	総裁官房	品質管理課
2	シャイマ ワエル	総裁官房	国際協力課

3	ミナ ナシェイ カーメル	経済 - 動員統計部	金融統計課
4	ハジャール イマド イッディーン	経済 - 動員統計部	民間企業統計課
5	アフマド ロトフィー アブデル ハミード	人口統計 - 国勢調 査部	サービス統計課
6	サフワット サイド ハッガグ アブデルカデー ル	人口統計 - 国勢調 査部	教育統計課
7	アリー ホベイシ カーメ ル	人口統計 - 国勢調 査部	サンプル分類統計課
8	メルバット ムハンマド ヤヒヤ	IT 部	保険・社会事業 データ課
9	ベセム ムハンマド アリ エザット	IT 部	プロジェクト開発課
10	モナ アブデル ラテー フ イード	地方支局部	地域統計 フォロー アップ課
11	ムハンマド アラー エル ディーン アブデルラフマ ーン	地方支局部	動員統計 調査課

第 2 回本邦研修 研修参加者リスト

No.	氏名 (A 班、B 班の別記載)	セクター	局
1	タメール ムハンマド ア ミーン モハンマド バイオウミ B 班	総裁官房	技術課
2	モハンメド アリ イブラ ヒーム エドリス B 班	経済 - 動員統計部	物価統計課
3	モハンメド マフムードア ボエレズ タウフィーク B 班	経済 - 動員統計部	外国貿易統計課
4	ナニー アブデルカーデル ハーシェム エルファー B 班	経済 - 動員統計部	経済調査研究課

5	アフマド モハンマド カ ーメル アフマド A班	IT部	地理情報システム課
6	アブデルハリーム イブラ ヒーム モハンマド アブ デラジーズ B班	IT部	地理情報システム課
7	アフマド エルサイド A班	IT部	プロジェクト開発課
8	ムーディー マスマー ワ ディー ガイド B班	IT部	プロジェクト開発課
9	アボウエレラ トルキー アボウエレラ モルシ A班	人口統計 - 国勢調 査部	人口センサス課
10	シャイマー ヘイリー ア ブデルマギド シェハタ A班	人口統計 - 国勢調 査部	分類・標本抽出課
11	ワファー イツザト アリ エイド A班	人口統計 - 国勢調 査部	労働統計課
12	アムル エルシャハット ハリーフア サイド アフ マド エルワキール A班	地方支局部	カフルシェイフ動員 調査統計課
13	サウサン イブラヒーム モ ハンマド サイド アフマ ド B班	地方支局部	アレキサンドリア動 員調査統計課

第3回本邦研修 研修参加者リスト

No.	氏名	セクター	局
1	シャーケル アフマド ロテ フィー モハメド エルナッ ガー	人口統計 - 国勢調 査部	経済センサス課
2	ワラー イブラヒーム ハサ ン エルシャルカーウィ	人口統計 - 国勢調 査部	社会研究センター
3	エマド マハフーズ モハメ ド モハメド アルアスワド	人口統計 - 国勢調 査部	社会研究センター
4	メンナトッラー アンワー アフマド モハメド ハーシ ム	IT部	地理情報システム課

5	ミーナ エサーム カーメル ゲルゲス	IT 部	ソフトウェア開発課
6	マフムード エルサイエド ガムリー モハメド エルモ ワーフィ	地方支局部	カフルシェイフ事務 所
7	ワラー モハメド カーメル モハメド エルアッバーシー	総裁官房	調査技術課

第 4 回本邦研修 参加者リスト

No.	氏名	セクター	局
1	アフマド カマール	総裁アドバイザー	
2	ムハンマド アブデルモネエ ム	総裁官房	業務フォローアップ 課
3	サイエド モスタファ	IT 部	プロジェクト開発課
4	ヘバタッラー エレーワ	IT 部	コンピュータ・エン 지니어リング課
5	モスタファ マフムード	経済 - 動員統計部	技術課
6	モハンマド アブデルモフセ ン	経済 - 動員統計部	貿易統計課
7	モハンマド ナビール	経済 - 動員統計部	貿易統計課
8	アフマド エルコルディー	地方支局部	ベニスエフ事務所

CAPMASにおける統計情報の質向上プロジェクト					
第1回本邦研修 日程表					
					2017/9/14現在
月 日	時間	研修場所 (研修機関)	研修内容		講師
9月23日	土	18:40	カイロ発	EK924	
9月24日	日	17:35	東京着	EK318	
9月25日	月	10:30-12:30	JICA	ブリーフィング	JICA TIC 職員
		13:30-15:00	TIC (東京国際 センター)	オリエンテーション	松尾和彦
		15:30-17:00		官庁統計家の心構え	伊藤孝雄 元総務省政策統括官(統計 基準担当)
9月26日	火	10:30-10:50	総務省統計局	総務省統計局長表敬	千野 雅人 総務省統計局長
	11:00-11:30	統計資料館の見学		小林 信子 統計資料館長	
	13:30-15:00	統計局の概要		加藤 明子 統計局総務課国際第二係 主査	
	15:30-17:00	政策統括官(統計基準担当)の概要	樽松 良祐 政策統括官付統計企画管 理官室総括担当主査		
9月27日	水	10:00-11:00	総務省統計局	経済センサスの概要(H26基礎調査)	久保 要 統計局統計作成支援課課長 補佐
	11:00-12:00	経済センサスの概要(H28活動調査)		鎌田 由希 統計局経済統計課統計情報官	
	13:30-15:00	センサスマッピングシステム(CMS)の概要		三川 敬久 統計局地理情報室地理情 報システム管理係長	
	15:30-17:00	地域メッシュ統計の概要		武田 紀子 統計局地理情報室小地域 加工統計係長	
9月28日	木	10:00-12:00	総務省統計局	国勢調査の概要	阿久津 文香 統計局国勢統計課研究 分析係長
	13:30-15:00	コーホート分析手法等人口センサスの精度検 証手法		阿久津 文香 統計局国勢統計課研究 分析係長	
	15:30-17:00	e-Stat (政府統計の総合窓口) と統計GISの概要	廣瀬 嘉一 統計局統計情報システム 管理官主査(最適化調整担当・高度化 推進担当)		
9月29日	金	10:00-10:20	(独) 統計セ ンター	(独) 統計センター理事長表敬	榑 広計 (独) 統計センター理事長
	10:30-11:20	統計センターの概要		金室 貴子 統計センター経営審議室 課長代理(国際担当)	
	11:30-12:00	統計センター施設の見学		永野 努 統計センター情報管理課入 力システム担当係長	
	13:30-15:00	人口センサス(国勢調査)の審査・集計方法の概要		和田 光人 統計センター情報管理課 情報管理担当係長	
	15:30-17:00			武山 雅宏 統計センター人口統計企 画課企画第1担当係長	
9月30日	土		休日		
10月1日	日		休日		
10月2日	月	10:00-12:00	(独) 統計セ ンター	経済センサスの審査・集計方法の概要	小高 敦 統計センター企画課経済セ ンサス企画室統括統計職(システム企 画担当)
		14:00-16:00	JICA TIC	都道府県の行政と統計機構、出張オリエンテーシ ョン	松尾和彦
		17:00-18:30		CAPMASデータを利用した経済分析及び意見交換	岩崎えり奈 上智大学外国学部教授 加藤 博 一橋大学名誉教授
10月3日	火	AM	移動：東京→ 岐阜	(東京発9:33-岐阜羽島着11:29ひかり507号)	
		14:00-16:00	事業所見学	矢橋ホールディングス株式会社(会社の活動概要、 事業所内見学及び統計調査への対応状況等)	矢橋龍宣代表取締役社長 矢橋龍樹取締役 等
10月4日	水	10:00-12:00	岐阜県庁	岐阜県における統計活動の概要	高橋洋子岐阜県環境生活部統計課長 中西義裕同課長補佐
		PM	移動：→東京	(岐阜羽島発16:13-東京着18:10ひかり526号)	
10月5日	木	10:00-12:00	SIAP	2030 SDG Agenda(全体概要)	SIAP講師
	13:00-14:30	SDG global indicator framework			
	15:00-16:15	SDG indicators typology			
10月6日	金	10:00-12:00	SIAP	討論(エジプトにおける2030アジェンダへの要請、プ レゼン)	SIAP講師
	13:00-14:30	討論(続き)		38	Ashish Kumar SIAP所長
	15:00-16:15	クマール所長講演			

10月7日	土		休日		
10月8日	日		休日		
10月9日	月		祝日		
10月10日	火	10:00-12:00	JICA TIC	内部検討会	松尾和彦
		13:00-14:30	総務省統計局	研修員による発表（CAPMASの統計活動）、意見交換	統計局職員、統計センター職員、その他関係者
		15:00-17:00		SDGデータの概要（日本とエジプトの対応）	石丸 英幸 政策統括官室国際統計管理官室統計専門職
10月11日	水	10:00-12:00	経済産業省	経済産業省調査統計グループで行っている統計概要	経済産業省調査統計グループ調査分析支援室参事官補佐 田村 秀一
		13:30-15:00 15:30-17:00		工業統計調査の概要 商業統計調査の概要	経済産業省調査統計グループ構造統計室工業統計二係長 安西 央成 経済産業省調査統計グループ構造統計室商業統計一係長 古家 篤
10月12日	木	10:00-12:00	総務省統計局	標本抽出論1（概要）	坂下 信之 総務省統計研究研修所統計研修研究官
		13:30-15:00 15:30-17:00		労働力調査の標本抽出の考え方 就業構造基本調査の標本抽出の考え方	小田 大輔 統計局労働力人口統計室標本抽出係長 石井 竜太 統計局労働力人口統計室研究分析係長
10月13日	金	10:00-11:00 11:00-12:00	総務省統計局	家計調査の標本抽出の考え方 家計消費状況調査の標本抽出の考え方	岡田 悠里 統計局消費統計課研究分析係長 金子 浩之 統計局消費統計課家計消費状況調査係長
		14:00-15:30		JICA TIC	評価会、修了式
10月14日	土	22:00	東京発	EK319	
10月15日	日	10:05	カイロ着	EK927	

別途在日エジプト大使館表敬訪問を設ける(夕方16時半以降)

CAPMASにおける統計情報の質向上プロジェクト
第2回本邦研修(A班) 日程表

2018/2/1現在

月日	時間	研修場所 (研修機関)	研修内容	講師
2月11日	日	13:35 EY654	カイロ発	
2月12日	月	12:45 EY878	東京着	
2月13日	火	10:00-12:00	JICA ブリーフィング	JICA TIC 職員
		13:30-15:00 15:15-16:45	TIC (東京国際センター) オリエンテーション 官庁統計家の心構え	松尾和彦 テーフアドバイザー 伊藤孝雄 元総務省政策統括官
2月14日	水	10:30-10:50 11:00-11:30	総務省統計局長表敬 統計資料館の見学	千野雅人 総務省統計局長 小林信子 統計資料館長
		13:10-14:40 15:00-16:30	総務省統計局 統計局の概要(CAPMAS概要紹介含む) 政策統括官(統計基準担当)の概要(統計改革概要含む)	明石洋祐 統計局総務課国際第一係長 樽松良祐 政策統括官付統計企画管理 官室総括担当主査
2月15日	木	10:00-10:20	(独)統計センター理事長表敬	椿広計 (独)統計センター理事長
		10:30-11:20	(独)統計センター 統計センターの概要	西尾優子 統計センター経営審議室参事(経営企画担当)付上席専門職
		11:30-12:00	統計センター施設の見学	和田光人 統計センター情報管理課情報管理担当係長
		13:10-14:40 15:00-16:30	総務省統計局 家計調査の概要及び討議(エジプトの家計調査紹介含む) 家計消費状況調査の概要(電子商取引含む)	中本琢実 統計局消費統計課企画指導第一係統計専門職 高倉優介 統計局消費統計課家計消費状況調査係統計専門職
2月16日	金	10:00-12:00	(独)統計センター 家計調査の審査・集計方法の概要	伊藤正一 統計センター企画課消費担当統括統計職 小池いつ子 統計センター企画課家計調査担当主席統計職 和田拓二 統計センター企画課家計調査担当係員
		13:10-14:40	総務省統計局 国勢調査の調査区設定	熊谷俊郎 統計局国勢統計課オンライン調査、調査区担当課長補佐 渡邊礼子 統計局国勢統計課調査区係長
		15:00-16:30	国勢調査のオンライン回答システムの概要	熊谷俊郎 統計局国勢統計課オンライン調査、調査区担当課長補佐 藤沼俊治 統計局国勢統計課オンライン調査係長
2月17日	土		休日	
2月18日	日		休日	
2月19日	月	AM	移動	(東京発10:33-米原着12:44ひかり509号)
		14:00-14:20 14:40-16:00	滋賀大学 滋賀大学学長等表敬 公的統計の政策への活用(講義・討議)(CAPMAS概要紹介含む)	位田学長、須江副学長、竹村学部長 高田聖治教授
2月20日	火	10:00-12:00	滋賀大学 官庁統計家のためのデータサイエンス(講義・討議)	高田聖治教授
		PM	文化・歴史見学後、京都市へ移動	
2月21日	水	9:30-12:00	京都府 京都府統計課(地方統計業務の概要・討議)	京都府政策企画部長川口龍雄、企画統計課長石川栄基 実地調査指導担当課長北村有希子等
		PM	移動	文化・歴史見学後 (京都発15:45-東京着18:03のぞみ236号)
2月22日	木	10:00-12:00	総務省統計局 e-stat(政府統計の総合窓口)と統計GISの概要	八木裕一郎 統計局統計情報システム管理官最適化推進担当係員
		13:10-14:40 15:00-16:30	センサスマッピングシステム(CMS)の概要 地域メッシュ統計の概要及び討議(エジプトのGIS紹介含む)	三川敬久 統計局地理情報室地理情報システム管理係長(同席:川上幸江課長補佐) 武田紀子 統計局地理情報室小地域加工統計係長(同席:川上幸江課長補佐)

2月23日	金	10:00-10:20	SIAP	開会 (SIAP所長挨拶等)	Ashish Kumar SIAP所長 Miriam Hodge講師
		10:30-12:00		データ解析概論	
		13:00-16:00 16:10-16:20		SIAP (エジプト統計の現状発表と討議) 閉会	
2月24日	土		休日		
2月25日	日		休日		
2月26日	月	10:00-12:00	総務省統計局	人口推計の概要及び討議	本橋千登美 統計局国勢統計課人口推計・人口移動 担当課長補佐 鈴木順子 統計局国勢統計課人口推計係長
		13:10-14:40		国勢調査の概要及び将来課題	
		17:00-18:30	TIC	CAPMASデータを利用した経済分析及び意見交換	岩崎えり奈 上智大学外国学部教授
2月27日	火	10:00-12:00	総務省統計局	国勢調査における品質管理の概要及び討議	羽鳥記章 統計局国勢統計課庶務、企画、指導、 研究分析担当課長補佐 阿久津文香 統計局国勢統計課研究分 析係長
		13:10-14:40 15:00-16:30		労働力調査の概要 (サンプリングを含む) 労働力調査の手法討議 (エジプトの労働力調査紹介 と討議)	永井恵子 統計局労働力人口室審査第一、 研究分析及び就業動向指標第一担 当課長補佐 小田大輔 統計局労働力人口室標本抽 出係長 吉田浩生 統計局労働力人口室企画第一、 就業動向指標第二担当課長補佐 和田宏之 統計局労働力人口室企画指 導第一係長併任就業動向指標第二係長
2月28日	水	10:00-11:00	総務省統計局	標本抽出 (概論)	坂下信之 統計局研究研修所統計研修研究官
		11:10-12:00		サンプリング手法討議 (エジプトにおけるマスターサ ンプリング方式紹介と討議)	小林良行 統計局研究研修所教授 多田浩 統計局調査企画課標本管理係 長
		13:10-14:40		社会生活基本調査の概要	大澤朗子 統計局労働力人口統計室審 査第二・第三担当課長補佐 矢野広典 統計局労働力人口統計室統 計専門職 (企画指導第三・審査発表第 三担当) 謝花美幸 統計局労働力人口統計室統 計専門職 (審査発表第三担当)
		15:00-16:30		社会・人口統計体系の概要	中村真理 統計局統計利用推進課社会 生活統計指標係統計専門職 (同席: 高月由美子課長補佐、森山幹 子係長、古川千金統計専門職)
3月1日	木	10:00-12:00	TIC	GISデータを利用した地域分析 (1) (エジプトのGIS 紹介含む)	SINFONICA小西純主任研究員、田村朋子 研究員
		13:10-16:30		GISデータを利用した地域分析 (2)	
3月2日	金	11:00-12:00	エジプト大使館	エジプト大使館表敬及びセンサス結果データの紹介 討議	Mr. Ayman Aly Kamel大使等
		14:00-15:30	TIC	評価会、修了式	JICA 職員等
3月3日	土	17:30 EY871	東京発		
3月4日	日	5:30 EY651	カイロ着		

CAPMASにおける統計情報の質向上プロジェクト

第2回本邦研修(B班) 日程表1

2018/2/1現在

月日	時間	研修場所 (研修機関)	研修内容	講師
2月11日	日 13:35 EY654	カイロ発		
2月12日	月 12:45 EY878	東京着		
2月13日	火 10:30-12:00	JICA	ブリーフィング	JICA TIC 職員
	13:30-15:00 15:30-17:00	TIC (東京国際センター)	オリエンテーション 官庁統計家の心構え	松尾和彦 チーフアドバイザー 伊藤孝雄 元総務省政策統括官
2月14日	水 10:30-10:50 11:00-11:30	総務省統計局	総務省統計局長表敬 統計資料館の見学	千野雅人 総務省統計局長 小林信子 統計資料館長
	13:10-14:40 15:00-16:30		統計局の概要 (CAPMAS概要紹介含む) 政策統括官 (統計基準担当) の概要 (統計改革概要 含む)	明石洋祐 統計局総務課国際第一係長 樽松良祐 政策統括官付統計企画管理官室総括担 当主査
2月15日	木 10:00-10:20	(独) 統計センター	(独) 統計センター理事長表敬	榎広計 (独) 統計センター理事長
	10:30-11:20		統計センターの概要	西尾優子 統計センター経営審議室参事 (経営企 画担当) 付上席専門職
	11:30-12:00		統計センター施設の見学	和道光人 統計センター情報管理課情報管理担 当係長
	13:10-14:40 15:00-16:30	総務省統計局	経済センサスの概要 (H26基礎調査) (ローリングセ ンサス紹介含む) 経済センサスの概要 (H28活動調査) 及び討議 (エジ プト経済センサス紹介含む)	久保奨 統計局作成支援課企画担当課長補佐 鎌田由希 統計局経済統計課企画第二係統計情報 官
2月16日	金 10:00-12:00	(独) 統計センター	経済センサスの審査・集計方法の概要	小高敦 統計センター企画課経済センサス企画
	13:10-14:40 15:00-16:30	総務省統計局	経済センサスの調査区設定 経済センサス活動調査のオンライン回答システムの 概要	藤森和彦 統計局統計作成支援課統計専門官 滝口裕子 統計局経済統計課オンライン・解析提 供担当課長補佐
2月17日	土	休日		
2月18日	日	休日		
2月19日	月 AM	移動	(東京発10:33-米原着12:44ひかり509号)	
	14:00-14:20 14:40-16:00	滋賀大学	滋賀大学学長等表敬 公的統計の政策への活用 (講義・討議) (CAPMAS 概要紹介含む)	位田学長、須江副学長、竹村学部長 高田聖治教授
2月20日	火 10:00-12:00	滋賀大学	官庁統計家のためのデータサイエンス (講義・討議)	高田聖治教授
	PM		文化・歴史見学後、京都市へ移動	
2月21日	水 9:30-12:00	京都府	京都府統計課 (地方統計業務の概要・討議)	京都府政策企画部長川口龍雄、企画統 計課長石川栄基 実地調査指導担当課長北村有希子等
	PM	移動	文化・歴史見学後、東京へ移動 (京都発15:45-東京着18:03のぞみ236号)	
2月22日	木 10:00-12:00	総務省統計局	e-stat (政府統計の総合窓口) と統計GISの概要	八木裕一郎 統計局統計情報システム管理官最適化 推進担当係員
	13:10-14:40 15:00-16:30		センサスマッピングシステム (CMS) の概要 地域メッシュ統計の概要及び討議 (エジプトのGIS紹 介含む)	三川敬久 統計局地理情報室地理情報システム管 理係長 (同席: 川上幸江課長補佐) 武田紀子 統計局地理情報室小地域加工統計係長
2月23日	金 10:00-10:20 10:30-12:00	SIAP	開会 (SIAP所長挨拶等) データ解析概論	Ashish Kumar SIAP所長 Miriam Hodge講師
	13:00-16:00 16:10-16:20		SIAP (エジプト統計の現状発表と討議) 閉会	SIAP講師 Ashish Kumar 所長
2月24日	土	休日		
2月25日	日	休日		

2月26日	月	10:00-12:00	総務省統計局	GPIの概要、小売物価統計調査の概要(PDAデモ含む)及び討議(エジプトのGPI紹介含む)	丸山歩 統計局物価統計室企画・価格調査担当課長補佐 古市耕一郎 統計局物価統計室価格調査システム係長 中山太郎 統計局物価統計室物価指数第二係統計専門職 泉和樹 統計局物価統計室物価指数第一係員
		13:10-14:40		事業所母集団データベースの概要(ビジネスレジスターのデモ含む)	伊藤文也 統計局統計作成支援課事業所母集団データベース管理企画担当、企業組織構造係統計専門職
		17:00-18:30	TIC	CAPMASデータを利用した経済分析及び意見交換	岩崎えり奈上智大学外国語学部教授
2月27日	火	10:00-10:50 11:00-12:00 13:10-15:30	日本銀行	日本銀行の統計概要 サービス貿易の概要 PPI、サービス指数の概要及び討議(エジプトのPPI紹介含む)	日本銀行調査統計局
2月28日	水	10:00-11:00 11:10-12:00 13:10-14:40 14:50-16:00	経済産業省	経済産業省の統計概要 商業統計の概要 工業統計の概要(エジプト経済センサス紹介含む) 工業統計調査におけるオンライン調査の概要及び地域メッシュ統計について	経産省調査統計グループ調査分析支援室参事官補佐 田村秀一 同構造統計室商業統計第一係長古家篤 同構造統計室工業統計第二係長安西央成 同構造統計室経済センサス第三係長森岡美翔
3月1日	木	10:00-12:00 13:10-16:30	TIC	GISデータを利用した地域分析(1)(エジプトのGIS紹介含む) GISデータを利用した地域分析(2)	SINFONICA小西純主任研究員、田村朋子研究員
3月2日	金	11:00-12:00 14:00-15:30	エジプト大使館 TIC	エジプト大使館表敬及びセンサス結果データの紹介討議 評価会、修了式	Mr. Ayman Aly Kamel大使等 JICA 職員等
3月3日	土	17:30 EY871	東京発		
3月4日	日	5:30 EY651	カイロ着		

CAPMASにおける統計情報の質向上プロジェクト
第3回本邦研修日程表

2018/10/1現在

月日	時間	研修場所 (研修機関)	研修内容	講師	使用言語
9月29日	土	カイロ発	EK0924		
9月30日	日		(航空機遅延によるドバイ泊)		
10月1日	月	14:50 18:00-18:30 JICA TIC (東京国際 センターSR306)	EK0318 TIC到着後簡易ブリーフィング	JICA TIC 職員	英
10月2日	火	10:30-12:00 総務省統計局 6階特別会議 室	統計局の概要(CAPMAS概要紹介含む) 終了後簡易オリエンテーション	衛藤 美和 統計局総務課国際第一・ 第二係統計専門職 松尾和彦 チーフアドバイザー	講義: 英 Q&A: 日英 英
		13:10-13:30 13:30-14:00 14:30-16:00	総務省統計局長表敬 統計資料館の見学 政策統括官(統計基準担当)の概要(統計改革概要 含む)	千野 雅人 総務省統計局長 荒井 繁之 統計資料館長 松井 泰樹 政策統括官(統計基準担 当)室統計企画管理官室総括担当主査	日 日 講義: 日 Q&A: 日
10月3日	水	10:00-10:20	(独)統計センター理事表敬	伊藤 彰敏 (独)統計センター理事	日
		10:30-11:20	統計センターの概要	久保 爽 統計センター経営審議室参 事(経営企画担当)付課長代理(国際 担当)	講義: 英 Q&A: 日
		11:30-12:00	統計センター施設の見学	小工 隆博 統計センター統計情報・ 技術部 情報管理課入カシステム担当 係長 和田 光人 統計センター統計情報・ 技術部 情報管理課情報管理担当係長	講義: 日 Q&A: 日
		13:10-14:40 15:00-16:30	家計調査の概要及び討論(エジプトの家計調査紹介 含む) 家計消費状況調査の概要、全国消費実態調査の概 要	大石 成史 統計局消費統計課企画指 導第一係係員 柴田 優 統計局消費統計課家計消費 状況調査係統計専門職 嶋北 俊一 統計局消費統計課全国消 費実態調査担当課長補佐	大石 講義: 英、Q&A : 日 柴田・嶋北 講義: 日、Q&A : 日
10月4日	木	10:00-12:00 総務省統計局 6階特別会議 室	(独)統計セ ンター 家計調査の審査・集計方法の概要	貞末 由香莉 統計センター統計編成 部企画課家計調査担当係員 小池 いつ子 統計センター家計調査 担当主席統計職	講義: 日 Q&A: 日
		13:10-14:40 15:00-16:30	総務省統計局 6階特別会議 室 国勢調査の調査区設定 国勢調査のオンライン回答システムの概要	渡邊 礼子 統計局国勢統計課調査区 係長 熊谷 俊郎 統計局国勢統計課調査区 、オンライン調査担当課長補佐	講義: 日 Q&A: 日 講義: 英 Q&A: 日
10月5日	金	10:00-12:00 13:30-16:00 16:15-17:30	社会保障・人 口問題研究所 TIC SR407 将来人口推計の概要(推計手法等)(エジプトの人 口推計紹介含む) GISデータを利用した地域分析(GIS演習含む) エジプトにおける世帯パネル調査の実施について	別府 志海 国立社会保障・人口問題 研究所情報調査分析部第二室長 Sinfonica 小西純主任研究員 岩崎えり奈 上智大学教授	講義: 日 Q&A: 日 講義: 日 Q&A: 日 英
10月6日	土		休日		
10月7日	日		休日		
10月8日	月	PM	祝日(移動)	東京発和歌山着(新幹線+在来線)	
10月9日	火	9:30-12:00 14:00-15:30	和歌山県統計 課 和歌山県統計活動の概要等(調査員との意見交換 含む) 花王和歌山 事業所見学(日本のエコ産業の実態把握)	和歌山県調査統計課(担当: 宮井副課 長) 花王(株)和歌山工場	講義: 日 Q&A: 日
10月10日	水	10:00-12:00 PM	統計データ利 活用センター (和歌山) 統計データ利活用センターの活動概要 和歌山発東京着(新幹線+在来線)	谷道 正太郎 総務省統計データ利活 用センター長	講義: 英 Q&A: 日
10月11日	木	10:00-12:00 13:10-14:40 15:00-16:30	総務省統計局 6階特別会議 室 総務省統計局 7階中会議室 e-Stat(政府統計の総合窓口)と統計GISの概要 センサスマッピングシステム(CMS)の概要 地域メッシュ統計の概要及び討論(エジプトのGIS紹 介含む)	八木 裕一郎 統計局統計情報シス テム管理官最適化推進担当係員 三川 敬久 統計局地理情報室地理情 報システム管理係長 亀本 薫 統計局地理情報室小地域加 工統計係長	講義: 日 Q&A: 日 講義: 日 Q&A: 日
10月12日	金	10:00-12:00 13:10-14:10 14:20-15:20 15:30-16:30	総務省統計局 7階中会議室 官庁統計家のためのデータサイエンス(BIGデータと 官庁統計: 講義・討論) 労働力調査の概要(サンプリングを含む) 労働力調査の手法討論(エジプトの労働力調査紹介 と討論) 就業構造基本調査の概要	小川 友彬 統計局消費統計課消費指 標担当課長補佐 早川 晋平 統計局労働力人口統計室 企画指導第一係統計専門職 小田 大輔 統計局労働力人口統計室 標本抽出係長 清水 美絵 統計局労働力人口統計室 審査発表第二係統計専門職	講義: 英 Q&A: 英 早川・清水 講義: 日、Q&A : 日 小田 講義: 英、Q&A : 日
10月13日	土		休日		
10月14日	日		休日		

10月15日	月	10:00-12:00	総務省統計局 6階特別会議室	オープンデータの概要 オープンデータ戦略の取り組み(現状)	西村 正貴 統計センター統計情報・技術部 共同利用システム課総合戦略担当統 括統計職	講義：日 Q&A：日
		13:10-14:10		APIの使い方(デモ等)		
		14:20-16:30		社会生活基本調査の概要(エジプトの時間利用調査 の現状紹介)	謝花 美幸 統計局労働力人口統計室 審査発表第三係統計専門職	講義：日 Q&A：日
10月16日	火	10:00-11:00	総務省統計局 6階特別会議室	標本抽出(概論)	坂下 信之 統計研究研修所統計研修 研究官	講義：日 Q&A：日
		11:10-12:00		サンプリング手法討議(エジプトにおける最新マスタ ーサンプリング作成の現況紹介と討議)	坂下 信之 統計研究研修所統計研修 研究官 小林 良行 統計研究研修所教授 小田 大輔 統計局労働力人口統計室 標本抽出係長	講義：日 Q&A：日
		13:30-16:00		厚生労働統計の概要 人口動態調査の概要 国民生活基礎調査の概要	世不 義勝 政策統括官付参事官(企 画調整担当)付統計企画調整室 室長 補佐 井戸本 賢 政策統括官付参事官(企 画調整担当)付人口動態・保健社会統 計室 統計情報調整官 川田 貴史 政策統括官付参事官(企 画調整担当)付世帯統計室 国民生活 基礎統計室副室長	講義：日 Q&A：日
10月17日	水	10:00-12:00	総務省統計局 午前：3階第 1会議室(316) 午後：6階特 別会議室	国勢調査における品質管理の概要及び討議(エジプ トの年齢コーホート分析の現状紹介含む)	永井 恵子 統計局国勢統計課審査、 研究分析担当課長補佐 塚本 大器 統計局国勢統計課研究分 析係長	講義：日 Q&A：日
		13:10-16:00		人口・世帯統計におけるエジプトの課題(エジプト側 の各種プレゼンテーション及び討議)	関係職員	講義：日 Q&A：日
10月18日	木	11:00-12:00	エジプト大使館	エジプト大使館表敬・討議	Mr. Ayman Aly Kamel大使等	アラビア語
		14:00-15:30	TIC SR304	評価会、修了式	JICA 職員等	英
10月19日	金	22:00	東京発	EK0319		
10月20日	土	10:05	カイロ着	EK0927		

CAPMASにおける統計情報の質向上プロジェクト					
第4回本邦研修 日程表(案)					
					2019/6/23現在
月日	時間	研修機関	会議室	研修内容	講師
6月29日	土 18:40	カイロ発	EK924		
6月30日	日 17:35	東京着	EK318		
7月1日	月 10:00-12:00 13:30-15:30	JICA TIC (東京国際)		ブリーフィング オリエンテーション	JICA TIC 職員 松尾 和彦 チーフアドバイザー
7月2日	火 10:30-11:00 11:00-12:00	総務省統計局	6階特別会議室	統計局事前ブリーフィング 統計資料館の見学	松尾 和彦 チーフアドバイザー、統計局総務課国際第一係 荒井 繁之 統計資料館長
	13:10-14:20 14:40-16:00			統計局の概要 (CAPMAS概要紹介含む) 政策統括官(統計基準担当)の概要(統計改革概要含む)	阿久津 文香 統計局総務課国際第一係長 鈴木 隼 政策統括官付統計企画管理官室事務官 辻元 亮 政策統括官付統計企画管理官室主査(同席)
7月3日	水 10:30-11:20	統計センター	3階第1会議室	統計センターの概要	堀田 靖子 統計センター総務部・経営企画課課長代理(国際担当)
	11:30-12:00			統計センター施設の見学	小生 健輔 統計センター統計情報システム部・情報システム企画課・入力システム係長(OCR室) 阿部 穂日 情報技術センター・統計情報提供課・提供審査係長(オンサイト)
	13:10-14:40 15:00-16:30			総務省統計局	経済センサスの概要(H26基礎調査)(DBの概要含む) 経済センサスの概要(H28活動調査)及び討論(エジプト経済センサス紹介含む)
7月4日	木 11:30-12:15	エジプト大使館	大使館会議室	エジプト大使館表敬及びCAPMAS統計活動の紹介討論	Mr. Ayman Aly Kamel大使等
	13:10-14:20	総務省統計局	3階第1会議室	統計GISデータの概要	滝澤 有美 統計局地理情報室課長補佐(地理情報システム担当)
	14:30-15:40			e-stat(政府統計の総合窓口)とJSTAT MAPの概要	八木 裕一郎 統計局統計情報システム管理官統計専門職
	15:50-16:50			経済センサスの調査区設定	赤津 雅也 統計局事業所情報管理課課長補佐
7月5日	金 10:00-12:00	総務省統計局	6階特別会議室	「政府オンライン調査システム」の概要	湯目 素人 統計センター統計情報システム部・共同利用システム課オンライン調査係長
	13:10-16:00			BIGデータの統計的利用に向けて(官庁統計家のためのデータサイエンス)講義・討論	久保 奨 統計局消費統計課課長補佐
7月6日	土	休日			
7月7日	日	休日			
7月8日	月 10:00-10:40 10:45-12:00	経済産業省	別館9階933会議室	経済産業省の統計概要 工業統計の概要	田村 秀一 経済産業省大臣官房調査統計グループ調査分析支援室参事官補佐(企画調整担当) 安西 央成 経済産業省大臣官房調査統計グループ構造統計室統計指標専門職
	13:10-14:40 14:50-16:20			鉱工業指数の概要 BIGデータを活用した新たな統計データ収集の試み(商業動態統計調査等)	渡部 久美子 経済産業省大臣官房調査統計グループ経済解析室参事官補佐(鉱工業指数担当) 石川 斗志樹 経済産業省大臣官房調査統計グループ調査分析支援室調査員(民間情報活用型指標開発) 高橋 一将 経済産業省大臣官房調査統計グループサービス動態統計室業態別係長
7月9日	火 10:00-12:00	総務省統計局	7階中会議室	CPIの概要、小売物価統計調査の概要(POSデータを使用したPDAデモ含む)及び討論(エジプトのCPI紹介含む)	高橋 奈巳 統計局物価統計室調整係長 中山 太郎 統計局物価統計室統計局物価統計室(同席) 木崎 夏美 統計局物価統計室価格調査システム係長
	13:10-13:30 14:00-14:20			総務省統計局長表敬 統計センター理事長表敬	統計局長 統計センター理事長
	15:00-16:30			経済構造統計の整備について(経済構造実態調査の実施概要を含む)	会田 康之 統計局経済統計課企画係長
7月10日	水 10:00-12:00	統計センター	6階特別会議室	産業分類の自動格付け	高橋 桂子 統計センター統計編成部・統計分類企画課・統括統計職
	13:30-15:30	統計研修研究所		統計研究研修所の概要(統計技術研究及び統計研修概要)及び施設見学	平澤 学 統計研究研修所管理課長
7月11日	木 14:00-15:30	移動 (東京-和歌山-京都)		東京-和歌山 統計データ活用センターの活動概要 和歌山-京都	谷道 正太郎 統計データ活用センター長
7月12日	金 9:30-12:00	滋賀県統計課		滋賀県統計活動の概要等	廣瀬 淳子 滋賀県総合企画部統計課長
	13:30-16:00	滋賀大学		官庁統計家のデータサイエンス	横田 直木 滋賀大学データサイエンス学部教授
7月13日	土	休日(移動: 京都-東京)		文化施設見学(ハンディクラフトセンター、金閣寺)後移動(京都-東京)	
7月14日	日	休日			
7月15日	月	休日			

7月16日	火	10:00-12:00	統計センター	6階特別会議室	オープンデータの概要、オープンデータ戦略の取り組み(API、LOD)	西村 正貴 統計センター統計情報システム部・情報システム企画課システム戦略担当・課長代理
		13:10-14:10			APIの使い方(デモ等)	
		14:30-16:00	総務省統計局		CAPMAS統計の現状と課題(研修生プレゼンテーション及びディスカッション)	
7月17日	水	10:00-12:00	内閣府社会経済総合研究所	中央合同庁舎第8号館14階1422会議室	GDP推計概要(国民経済計算年次推計)	吉村 卓也 国民経済計算部企画調査課課長補佐
		13:10-14:20			GDP推計の概要(四半期推計)	野村 研太 国民経済計算部国民支出課課長補佐
		14:30-15:40			景気動向指数の概要	池本 靖子 景気統計部研究専門官
7月18日	木	11:00-12:00	TIC		研修結果とりまとめ・打合せ討議	松尾 和彦 チーフアドバイザー
		14:00-15:30			評価会、修了式	JICA 職員等
7月19日	金	22:00	東京発	EK319		CAPMAS研修生
		午前	JICA本部		表敬及び次期プロジェクト打合せ	Ahmed Kamal氏、Osman氏
		午後	総務省統計局	7階小会議室	次期プロジェクト打合せ 短期専門家との懇親	総務課国際第一係
7月20日	土	10:05	カイロ着	EK927		CAPMAS研修生
		22:00	東京発	EK319		Ahmed Kamal氏、Osman氏
7月21日	日	10:05	カイロ着	EK927		Ahmed Kamal氏、Osman氏

ANNEX 2: List of Products (Report, Manuals, Handbooks, etc.) Produced by the Project

- 1) 2017 年人口・住宅センサス指導員マニュアル
- 2) 収入支出消費調査 2015
- 3) 時間利用調査報告書
- 4) 2015 年労働力調査調査員マニュアル
- 5) 資料：2017 年労働力調査
- 6) 2017/2018 第 5 回経済センサス調査実施マニュアル

ANNEX 3: PDM (All versions of PDM)

Version 0 (September 2, 2015)

Version 1 (December 22, 2015)

Version 2 (April 9, 2017)

Version 3 (June 28, 2018)

Project Design Matrix

Annex I

Project Title: Project for Developing Statistical Quality System at CAPMAS

Version 0

Implementing Agency: Central Agency for Public Mobilization and Statistics (CAPMAS)

Dated: 02/September/2015

Period of Project (tentative): December 2015 – November 2018 (3 years)

Project Site: Cairo, Egypt

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal	1. The Census result with improved quality is utilized for policy making by the concerned ministries and relevant agencies in Egypt within 3 years of project completion. 2. The result of the Census 2016 with improved quality is utilized for other statistical studies undertaken by CAPMAS within 3 years of project completion.	1. CAPMAS internal references 2. CAPMAS internal references	
Policy relevance is enhanced with improved quality of statistical studies in Egypt			
Project Purpose	1. Guideline/manuals on Census management (e.g., data processing, E - Census, utilization of tablet devices, sampling, post-enumeration survey) is updated/improved.	1. CAPMAS internal references	- Policy makers understand the significance of statistical information. - The trained counterpart staff play an active role in the organization
Capacity of CAPMAS to effectively manage the Census 2016 and other statistical studies is strengthened.			
Outputs	1-1. No. of advice and training conducted. 1-2. The trainees are satisfied with the training. 1-3. Application of the advice and training for statistical planning, fieldwork and data processing. 2-1. No. of trainings conducted. 2-2. The level of understanding of CAPMAS staff on Japan's practice on sampling methods for statistical studies increases. 2-3. The level of understanding of CAPMAS staff on the improved master sampling method is improved. 3-1. No. of advice and training conducted. 3-2. The level of understanding of CAPMAS staff on the practice of post -enumeration survey increases. 3-3. Application of the advice and training for conducting the post -enumeration survey for the Census 2016.	1-1. Project references 1-2. Project references 1-3. Project references 2-1. Project references 2-2. Project references 3-1. Project references 3-2. Project references 3-3. Project references	- The trained counterpart staff play an active role in the organization - Sufficient budget and staff is allocated for CAPMAS - Public support and cooperate with the data collection for the Census.
1. Statistical planning, fieldwork and data processing are implemented effectively and with high quality using IT application.			
2. The capacity on sampling method is improved in quality.			
3. The post -enumeration survey is conducted properly in accordance with the international standards.			
Activities	Inputs		Important Assumption
1-1. Assess on the training need of CAPMAS staff. 1-2. Share on Japan's experience and provide advice on statistical planning, fieldwork and data processing. 1-3. Provide training for efficient implementation of statistical planning, fieldwork and data processing (Eg. data entry / loading and cleaning) 1-4. Provide advice and training on E - Census system. 1-5. Provide advice on work management for implementing the Census 2016. 2-1. Provide advice and training on sampling method. 2-2. Support on improving sampling methods for the Census 2016. (Eg. designing, sample selection and application) 3-1. Provide advice and training on post-enumeration survey. 3-2. Support on implementing post -enumeration survey by CAPMAS for the Census 2016.	<u>Egyptian Side</u> The Egyptian side will provide resources as follows. a. Human resources that may consist of (i) Project Director (Under Secretary for President Office Affairs, CAPMAS); (ii) Sub -Project Director (Director General of International Cooperation Department, CAPMAS); (iii) Project Manager (CAPMAS President Advisor); (iv) Sub-Project Manager (International Cooperation Department) b. Experts in statistics in Egypt c. Office space for resident advisor, if necessary d. Supporting fund for CAPMAS staff to assist the project implementation (based on needs) e. Contact with Egyptian government and foreign counterparts <u>Japanese Side</u> The Japanese side will provide resources as follows. a. Long Term Expert (Project Coordinator (Work Management / Quality Control)) b. Short Term Expert: (IT (Data Processing), Post Enumeration Survey (Processing / Matching) etc.) c. Study Visit / Country-Focused Training d. Seminar / Workshop / Training e. Equipment f. A part of the operational costs for implementing activities (Ex. Costs for experts activities)		- The trained counterpart staff play an active role in the organization - Sufficient budget and staff is allocated for CAPMAS <Pre-conditions> - The Census for 2016 is conducted with no major change in the schedule. - The organization of CAPMAS is not reformed / rearranged that may affect the project activities. - The security condition of Egypt is not deteriorated.

Project Title: Project for Developing Statistical Quality System at CAPMAS
 Implementing Agency: Central Agency for Public Mobilization and Statistics (CAPMAS)
 Period of Project (tentative): December 2015 – November 2018 (3 years)
 Project Site: Cairo, Egypt

Version 1
 Dated: 22/December/2015

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
<p>Overall Goal</p> <p>Policy relevance is enhanced with improved quality of statistical studies in Egypt</p>	<p>1. The result of the Census 2016 and other statistical studies with improved quality is utilized for policy making by the concerned ministries and relevant agencies in Egypt within 3 years of project completion.</p>	<p>1. CAPMAS internal references</p>	
<p>Project Purpose</p> <p>Capacity of CAPMAS to effectively manage the Census 2016 and other statistical studies is strengthened.</p>	<p>1. Based on the result of the Census 2016 with improved quality, sampling framework (master sample) necessary to conduct other statistical studies (sample studies) is properly designed.</p> <p>2. Guideline/manuals on Census management (e.g. data processing, E-Census, utilization of tablet devices, sampling, post-enumeration survey) is updated/improved.</p> <p>3. The coverage rate of the 2016 Census to be measured by the post-enumeration survey increases compared to that of the 2006 Census (83.6%).</p>	<p>1. CAPMAS internal references</p> <p>2. CAPMAS internal references</p> <p>3. CAPMAS internal references</p>	<p>- Policy makers continue to understand the significance of statistical information.</p>
<p>Outputs</p> <p>1. Statistical planning, fieldwork and data processing are implemented effectively and with high quality using IT application.</p> <p>2. The capacity on sampling method is improved in quality.</p> <p>3. The post -enumeration survey for the Census 2016 is conducted properly in accordance with the international standards.</p>	<p>1-1. No. of advice and training conducted.</p> <p>1-2. The trainees are satisfied with the training.</p> <p>1-3. Application of the advice and training for statistical planning, fieldwork and data processing.</p> <p>2-1. No. of trainings conducted.</p> <p>2-2. The level of understanding of CAPMAS staff on Japan's practice on sampling methods for statistical studies increases.</p> <p>2-3. The level of understanding of CAPMAS staff on the improved master sampling method is improved.</p> <p>3-1. No. of advice and training conducted.</p> <p>3-2. The level of understanding of CAPMAS staff on the practice of post -enumeration survey increases.</p> <p>3-3. Application of the advice and training for conducting the post -enumeration survey for the Census 2016.</p>	<p>1-1. Project references</p> <p>1-2. Project references</p> <p>1-3. Project references</p> <p>2-1. Project references</p> <p>2-2. Project references</p> <p>3-1. Project references</p> <p>3-2. Project references</p> <p>3-3. Project references</p>	<p>- Public support and cooperate with the data collection for the Census.</p> <p>- The security condition of Egypt is stable.</p>
<p>Activities</p>	<p>Inputs</p>	<p>Important Assumption</p>	
<p>1-1. Assess on the training need of CAPMAS staff.</p> <p>1-2. Share on Japan's experience and provide advice on statistical planning, fieldwork and data processing.</p> <p>1-3. Provide training for efficient implementation of statistical planning, fieldwork and data processing (Eg. data entry / loading and cleaning)</p> <p>1-4. Provide advice and training on E - Census system.</p> <p>1-5. Provide advice on work management for implementing the Census 2016.</p> <p>2-1. Provide advice and training on sampling method.</p> <p>2-2. Support on improving sampling methods for the Census 2016. (Eg. designing, sample selection and application)</p> <p>3-1. Provide advice and training on post-enumeration survey.</p> <p>3-2. Support on implementing post -enumeration survey by CAPMAS for the Census 2016.</p>	<p><u>Egyptian Side</u> The Egyptian side will provide resources as follows. a. Human resources that may consist of (i) Project Director (Under Secretary for President Office Affairs, CAPMAS); (ii) Sub -Project Director (Director General of International Cooperation Department, CAPMAS); (iii) Project Manager (CAPMAS President Advisor); (iv) Sub-Project Manager (International Cooperation Department) b. Experts in statistics in Egypt c. Office space for resident advisor, if necessary d. Supporting fund for CAPMAS staff to assist the project implementation (based on needs) e. Contact with Egyptian government and foreign counterparts</p> <p><u>Japanese Side</u> The Japanese side will provide resources as follows. a. Long Term Expert (Project Coordinator (Work Management / Quality Control)) b. Short Term Expert: (IT (Data Processing), Post Enumeration Survey (Processing / Matching) etc.) c. Study Visit / Country-Focused Training d. Seminar / Workshop / Training e. Equipment (such as Tablets and vehicles for studies) f. A part of the operational costs for implementing activities (Ex. Costs for experts activities)</p>	<p>- The security condition of Egypt is Stable.</p> <p><Pre-conditions></p> <p>- The Census for 2016 is conducted with no major change in the schedule.</p> <p>- The organization of CAPMAS is not reformed / rearranged that may affect the project activities.</p>	

Project Design Matrix

Project Title: Project for Developing Statistical Quality System at CAPMAS
 Implementing Agency: Central Agency for Public Mobilization and Statistics (CAPMAS)
 Period of Project: March 20, 2016 – March 19, 2019 (3 years)
 Project Site: Cairo, and other regions in Egypt, approved by JICA Security Guideline

Version 2
 Dated: 9/April/2017

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal	1. The result of the Census 2017 and other statistical studies with improved quality is utilized for policy making by the concerned ministries and relevant agencies in Egypt within 3 years of project completion.	1. Execution plan, Mid-term plan (Sustainable Development Strategy Egypt Vision 2030 etc.)	
Policy relevance is enhanced with improved quality of statistical studies in Egypt			
Project Purpose	1. Based on the result of the Census 2017 with improved quality, sampling framework necessary to conduct other statistical studies (sample studies) is properly designed. 2. Guideline/manuals on Censuses (including Economic Census) and other statistical studies management (e.g. data processing, E-Census and e-survey, utilization of tablet devices, sampling, data accuracy check) is updated/improved. 3. The accuracy of the 2017 Census to be measured by the accuracy check methods is improved compared to that of the 2006 Census.	1. CAPMAS internal references on sample surveys 2. Guideline/manuals on Censuses and other statistical studies 3. Reports on accuracy check results (age cohort analysis, comparison with other statistical data, post-enumeration survey, quality control etc.)	- Policy makers continue to understand the significance of statistical information.
Capacity of CAPMAS to effectively manage the Census 2017 and other statistical studies is strengthened.			
Outputs	1-1. The advice and training result are applied to statistical planning, fieldwork and data processing. 1-2. Monthly basis Labor Force Survey is conducted from quarterly basis. 1-3. E-Commerce and Trade in-service data are included in the surveys. 1-4. Grid Square Statistics method is implemented for dissemination of the Census 2017 result. 1-5. Guideline for statistical quality assurance is prepared. 2-1. The level of understanding of CAPMAS staff on Japan's practice on sampling methods for statistical studies is improved. 2-2. More than 50 capable staff to conduct statistical studies ¹ with the improved sampling method. 3-1. Accuracy check methods are clarified by August 2017. 3-2. More than 50 capable staff to conduct improved accuracy check of the result of the Census 2017.	1-1. Reports mentioned in 1-2,1-3,1-4 / Observation and interview with CAPMAS staff (Project reports) 1-2. Report of Labor Force Survey 1-3. Report of Economic Census or Economic survey 1-4. Report of the Census 2017 1-5. Guideline for statistical quality assurance 2-1. Training reports / Observation and interview with CAPMAS staff (Project reports) 2-2. Reports of the statistical studies / Observation and interview with CAPMAS staff (Project reports) 3-1. Project references 3-2. Reports on accuracy check results / Observation and interview with CAPMAS staff (Project reports)	- Public support and cooperate with the data collection for the Census. - The security condition of Egypt is stable.
1. Statistical planning, fieldwork and data processing are implemented effectively and with high quality using necessary IT application.			
2. The capacity on sampling method is improved in quality.			
3. Accuracy check of the result of the Census 2017 data (including advice of the post-enumeration survey method and quality control) is conducted properly in accordance with the international standards.			
Activities	Inputs		Important Assumption
1-1. Assess on the training need of CAPMAS staff. 1-2. Share on Japan's experience and provide advice on statistical planning, fieldwork and data processing. 1-3. Provide training for efficient implementation of statistical planning,	<u>Egyptian Side</u> The Egyptian side will provide resources as follows. a. Human resources that may consist of (i) Project Director (Under Secretary for President Office Affairs, CAPMAS) (ii) Sub-Project Director (Director General of International Cooperation Department, CAPMAS) (iii) Project Manager (CAPMAS President Advisor)		- The security condition of Egypt is stable. <Pre-conditions> - The Census for 2016 ² is conducted with no major change in the

¹ Labor Force Survey, Household Income, Expenditure and Consumption Survey, Annual Industrial Survey etc.

² At the project designed stage, the Census has been planned to be implemented in 2016, however it has been shifted into 2017 due to Implementation of nationwide local elections on November 2016.

<p>fieldwork and data processing (e.g. data entry / loading and cleaning)</p> <p>1-4. Provide advice and training on E - Census and e-survey system.</p> <p>1-5. Provide advice on work management for implementing the Censuses and other statistical studies.</p> <p>2-1. Provide advice and training on sampling method.</p> <p>2-2. Support on improving sampling methods for the Census es. (e.g. designing, sample selection and application)</p> <p>3-1. Provide advice and training on accuracy check (including post-enumeration survey method and quality control).</p> <p>3-2. Support on accuracy check of the result of the Census 2017.</p>	<p>(iv) Sub-Project Manager (International Cooperation Department)</p> <p>b. Experts in statistics in Egypt</p> <p>c. Office space for resident advisor, if necessary</p> <p>d. Supporting fund for CAPMAS staff to assist the project implementation (based on needs)</p> <p>e. Contact with Egyptian Government and foreign counterparts</p> <p><u>Japanese Side</u></p> <p>The Japanese side will provide resources as follows.</p> <p>a. Long Term Experts (Chief Advisor, Project Coordinator)</p> <p>b. Short Term Expert (Data accuracy check, IT (Data Processing), Post Enumeration Survey (Processing / Matching) etc.)</p> <p>c. Study Visit / Country-Focused Training</p> <p>d. Seminar / Workshop / Training</p> <p>e. Equipment (such as tablets and vehicles for studies)</p> <p>f. A part of the operational costs for implementing activities (Ex. Costs for experts activities)</p>	<p>schedule.</p> <p>- The organization of CAPMAS is not reformed / rearranged that may affect the project activities.</p>
---	--	---

Project Design Matrix

Project Title: Project for Developing Statistical Quality System at CAPMAS
 Implementing Agency: Central Agency for Public Mobilization and Statistics (CAPMAS)
 Period of Project: March 20, 2016 – March 19, 2019 (3 years and 7 months)
 Project Site: Cairo, and other regions in Egypt, approved by JICA Security Guideline

Version 3
 Dated: 28/06/2018

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
<p>Overall Goal</p> <p>Policy relevance is enhanced with improved quality of statistical studies in Egypt</p>	<p>The result of the Census 2017 and other statistical studies with improved quality is utilized for policy making by the concerned ministries and relevant agencies in Egypt within 3 years of project completion.</p>	<p>Execution plan, Mid-term plan (Sustainable Development Strategy Egypt Vision 2030 etc.)</p>	
<p>Project Purpose</p> <p>Capacity of CAPMAS to effectively manage the Census 2017 and other statistical studies (footnote 1) is strengthened.</p> <p>(footnote 1) <u>'other statistical studies' indicates specifically Labor Force Survey and Household Income, Expenditure and Consumption Survey (HIECS).</u></p>	<ol style="list-style-type: none"> Based on the result of the Census 2017 with improved quality, sampling framework necessary to conduct other statistical studies (sample studies) is properly designed. Guideline/manuals on Censuses (<u>Census 2017 and Economic Census</u>) and other statistical studies management (e.g. data processing, E-Census and e-survey, utilization of tablet devices, sampling, data accuracy check) is updated/improved. The accuracy of the Census 2017 to be measured by the accuracy check methods is improved compared to that of the 2006 Census. 	<ol style="list-style-type: none"> CAPMAS internal references on sample surveys Guideline/manuals on Censuses and other statistical studies Reports on accuracy check results (age cohort analysis, comparison with other statistical data, post-enumeration survey, quality control etc.) 	<p>-Policy makers continue to understand the significance of statistical information.</p>
<p>Outputs</p> <p>1. Statistical planning, fieldwork and data processing are implemented effectively and with high quality using necessary IT application.</p> <p>2. The capacity on sampling method is improved in quality.</p> <p>3. Accuracy check of the result of the Census 2017 data (including advice of the post-enumeration survey method and quality control) is conducted properly in accordance with the international standards.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <ol style="list-style-type: none"> The advice and training result are applied to statistical planning, fieldwork and data processing. Monthly basis Labor Force Survey is conducted from quarterly basis. E-Commerce and Trade in-service data are <u>properly tabulated</u> in <u>Economic Census</u>. Grid Square Statistics method is implemented for dissemination of the Census 2017 result. Guideline for statistical quality assurance is prepared. <u>New methodologies are added to HIECS.</u> <ol style="list-style-type: none"> The level of understanding of CAPMAS staff on Japan's practice on sampling methods for statistical studies is improved. More than 50 capable staff to conduct statistical studies¹ with the improved sampling method. <ol style="list-style-type: none"> Accuracy check methods are clarified by August 2017. More than 50 capable staff to conduct improved accuracy check of the result of the Census 2017. 	<ol style="list-style-type: none"> <ol style="list-style-type: none"> Reports mentioned in 1-2,1-3,1-4 / Observation and interview with CAPMAS staff (Project reports) Report of Labor Force Survey Report of Economic Census or Economic survey Report of the Census 2017 Guideline for statistical quality assurance <u>Draft Questionnaire and manual for HIECS</u> <ol style="list-style-type: none"> Training reports / Observation and interview with CAPMAS staff (Project reports) Reports of the statistical studies / Observation and interview with CAPMAS staff (Project reports) <ol style="list-style-type: none"> Project references Reports on accuracy check results / Observation and interview with CAPMAS staff 	<p>- Public support and cooperate with the data collection for the Census.</p> <p>- The security condition of Egypt is stable.</p>

¹ Labor Force Survey, Household Income, Expenditure and Consumption Survey, Annual Industrial Survey etc.

Activities	Inputs	Important Assumption
<p>1-1. Assess on the training need of CAPMAS staff.</p> <p>1-2. Share on Japan 's experience and provide advice on statistical planning, fieldwork and data processing.</p> <p>1-3. Provide training for efficient implementation of statistical planning, fieldwork and data processing (e.g. data entry / loading and cleaning)</p> <p>1-4. Provide advice and training on E - Census and e-survey system.</p> <p>1-5. Provide advice on work management for implementing the Censuses and other statistical studies.</p> <p>2-1. Provide advice and training on sampling method.</p> <p>2-2. Support on improving sampling methods for the Censuses . (e.g. designing, sample selection and application)</p> <p>3-1. Provide advice and training on accuracy check (including post enumeration survey method and quality control).</p> <p>3-2. Support on accuracy check of the result of the Census 2017.</p>	<p><u>Egyptian Side</u> The Egyptian side will provide resources as follows.</p> <p>a. Human resources that may consist of (i) Project Director (Under Secretary for President Office Affairs, CAPMAS) (ii) Sub -Project Director (Director General of International Cooperation Department, CAPMAS) (iii) Project Manager (CAPMAS President Advisor) (iv) Sub-Project Manager (International Cooperation Department)</p> <p>b. Experts in statistics in Egypt c. Office space for resident advisor, if necessary d. Supporting fund for CAPMAS staff to assist the project implementation (based on needs) e. Contact with Egyptian Government and foreign counterparts</p> <p><u>Japanese Side</u> The Japanese side will provide resources as follows.</p> <p>a. Long Term Experts (Chief Advisor, Project Coordinator) b. Short Term Expert (Data accuracy check, IT (Data Processing), Post Enumeration Survey (Processing / Matching) etc.) c. Study Visit / Country-Focused Training d. Seminar / Workshop / Training e. Equipment (such as tablets and vehicles for studies) f. A part of the operational costs for implementing activities (Ex. Costs for experts activities)</p>	<p>- The security condition of Egypt is stable.</p> <hr/> <p><Pre-conditions></p> <p>- The Census for 2016¹ is conducted with no major change in the schedule.</p> <p>- The organization of CAPMAS is not reformed / rearranged that may affect the project activities.</p>

¹At the project designed stage, the Census has been planned to be implemented in 2016, however it has been shifted into 2017 due to implementation of nationwide local elections on November 2016.

ANNEX 4: R/D, M/M, Minutes of JCC (copy) (*)

ANNEX 5: Monitoring Sheet (copy) (*)

(Remarks: ANNEX 4 and 5 are internal reference only.)

Separate Volume: Copy of Products Produced by the Project